



2024年度第2四半期 決算説明資料

2024年11月1日

旭化成株式会社

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

2024年度 上期実績

- **前年同期比で全セグメントともに増益**。「マテリアル」が半導体・電子機器関連市場の好調な需要に伴う拡販や原燃料コストを踏まえた適正なプライシングなどにより大幅に改善したことに加え、「住宅」および「ヘルスケア」も引き続き堅調に成長
- 「マテリアル」と「ヘルスケア」で想定以上に業績が進捗し、**前回予想（2024年7月発表）を上回る着地**

2024年度 通期予想・方針

- **前期比で全セグメントともに増益を見込む**。クリティカルケア事業やデジタルソリューション事業等、各セグメントの成長牽引事業の利益成長が寄与
- 上期の好調な決算を踏まえ、**当初予想（2024年5月発表）比で利益を上方修正**。「ヘルスケア」では、Calliditasの買収関連費用やのれん等償却費のマイナス影響を踏まえても当初予想並みの利益を見込む
- 引き続き、事業ポートフォリオ変革を推進。基盤マテリアル事業など石油化学チェーン関連事業の構造転換の検討を加速させるとともに、採算性の精査を徹底した上での成長牽引事業への投資や着実な刈取りを進める

株主還元

- 株主還元方針に従い、中間配当は18円とし、年間配当は36円を予想（変更なし）
- 資本効率の向上および株主還元の充実を図るため、**300億円を上限に自己株式取得の実施を決定**

中計の 取り組みの進捗

- 住宅事業において米国ODC Construction, LLCの買収を完了、フロリダ州に事業を拡大
- スウェーデン製薬企業Calliditas Therapeutics ABの株式公開買い付けによる買収を完了
- 「ヘルスケア」においても事業ポートフォリオ変革を推進

1. 2024年度上期実績

2024年度上期実績（連結）

売上高は、前年同期比で全セグメントともに増収。「マテリアル」が半導体・電子機器関連市場の好調な需要に伴う拡販や原燃料コストを踏まえた適正なプライシングなどにより大幅に改善したことに加え、「住宅」および「ヘルスケア」も引き続き堅調に成長

営業利益も、前年同期比で全セグメントともに増益。「マテリアル」の大幅な改善に加え、「住宅」および「ヘルスケア」も堅調に成長

親会社株主に帰属する中間純利益は、営業利益の増益などにより、前年同期比で増益

		2023年度上期	2024年度上期	増減額	増減率	2024年度上期 前回予想 (2024年7月発表)	増減率
売上高	(億円)	13,459	14,903	1,444	10.7%	15,010	-0.7%
営業利益	(億円)	559	1,089	530	94.9%	950	14.6%
売上高営業利益率		4.2%	7.3%			6.3%	
のれん償却前営業利益	(億円)	703	1,246	543	77.2%	1,110	12.3%
EBITDA	(億円)	1,447	1,975	528	36.5%	1,830	7.9%
売上高EBITDA率		10.7%	13.3%			12.2%	
親会社株主に帰属する中間純利益	(億円)	308	602	294	95.3%	530	13.7%

平均為替レート (USD円)

141円

153円

153円

平均為替レート (ユーロ円)

153円

166円

164円

国産ナフサ価格

65,600円/kl

78,000円/kl

77,500円/kl

1株当たり配当金

18円

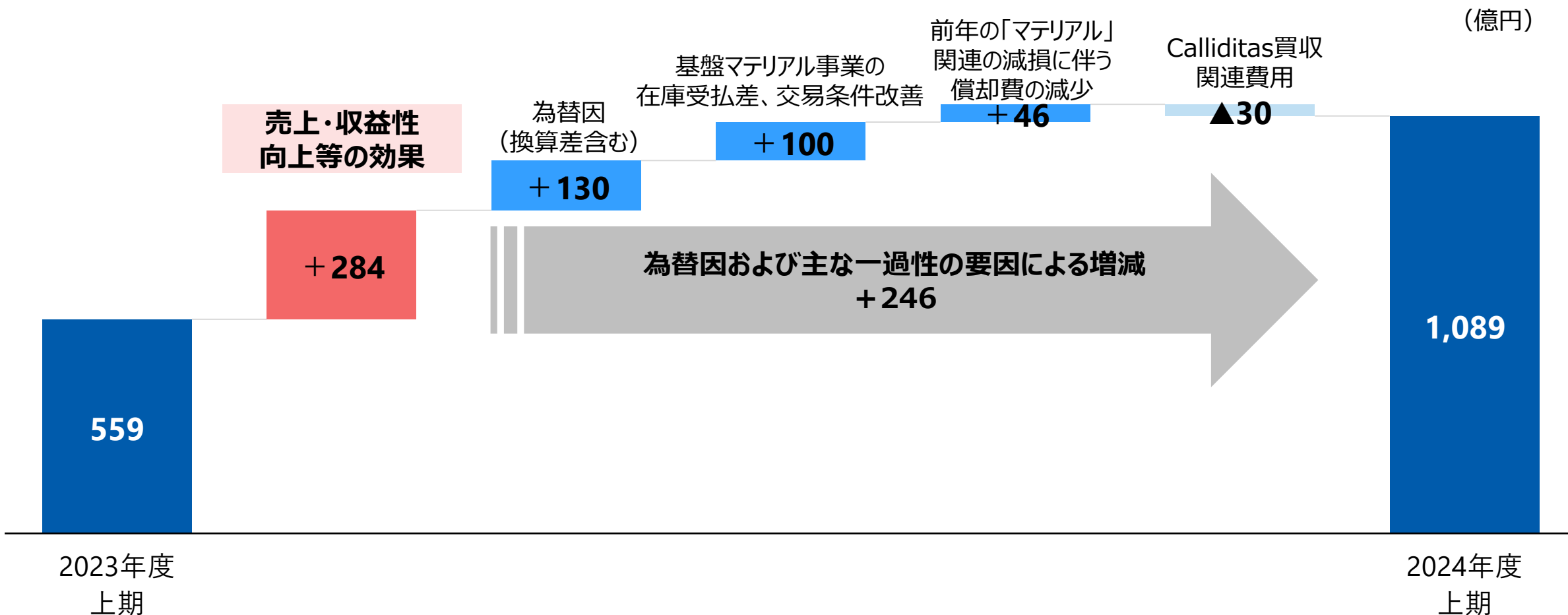
18円

18円

2024年度上期実績（営業利益増減要因）

前年同期比+530億円の増益のうち、為替因および主な一過性の要因による増減を除いた実力ベースの増益は約+284億円

各セグメントにおける拡販に加え、原燃料コストを踏まえた適正なプライシングやコストダウンなど、売上・収益性向上の取り組みが奏功



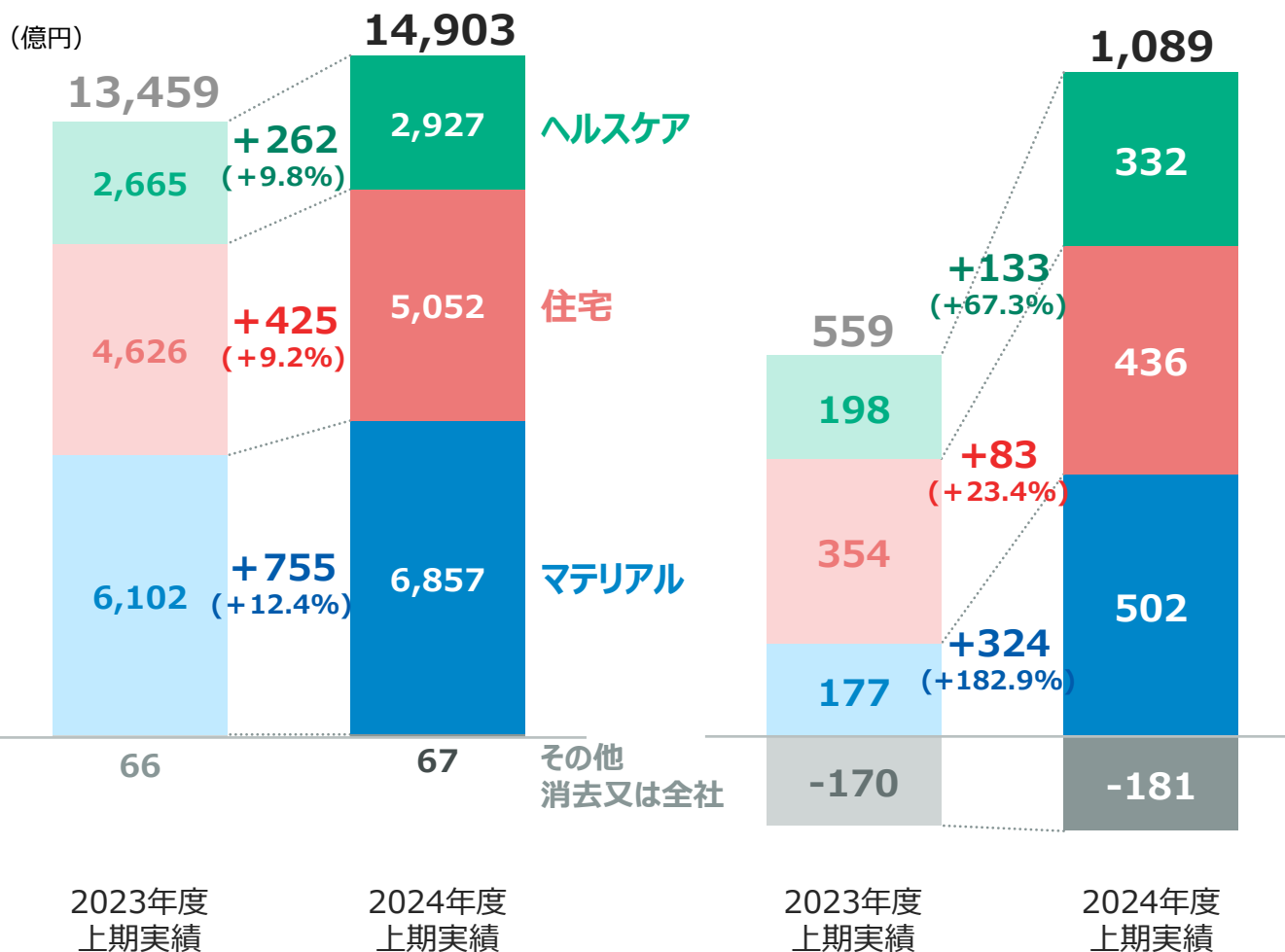
2024年度上期実績 (セグメント別 : 前年同期比)

売上高 前年同期比

+1,444億円 (+10.7%)

営業利益 前年同期比

+530億円 (+94.9%)



ヘルスケア

増収・増益

- **医薬・医療事業+67億円** : 主力製品の販売量増加、医療事業における円安影響などにより、増益
- **クリティカルケア事業+66億円** : 除細動器の販売価格上昇や原価低減、LifeVestの数量増加などにより、増益

住宅

増収・増益

- **住宅事業+92億円** : 不動産部門や海外事業部門の業績が伸長し、増益

マテリアル

増収・増益

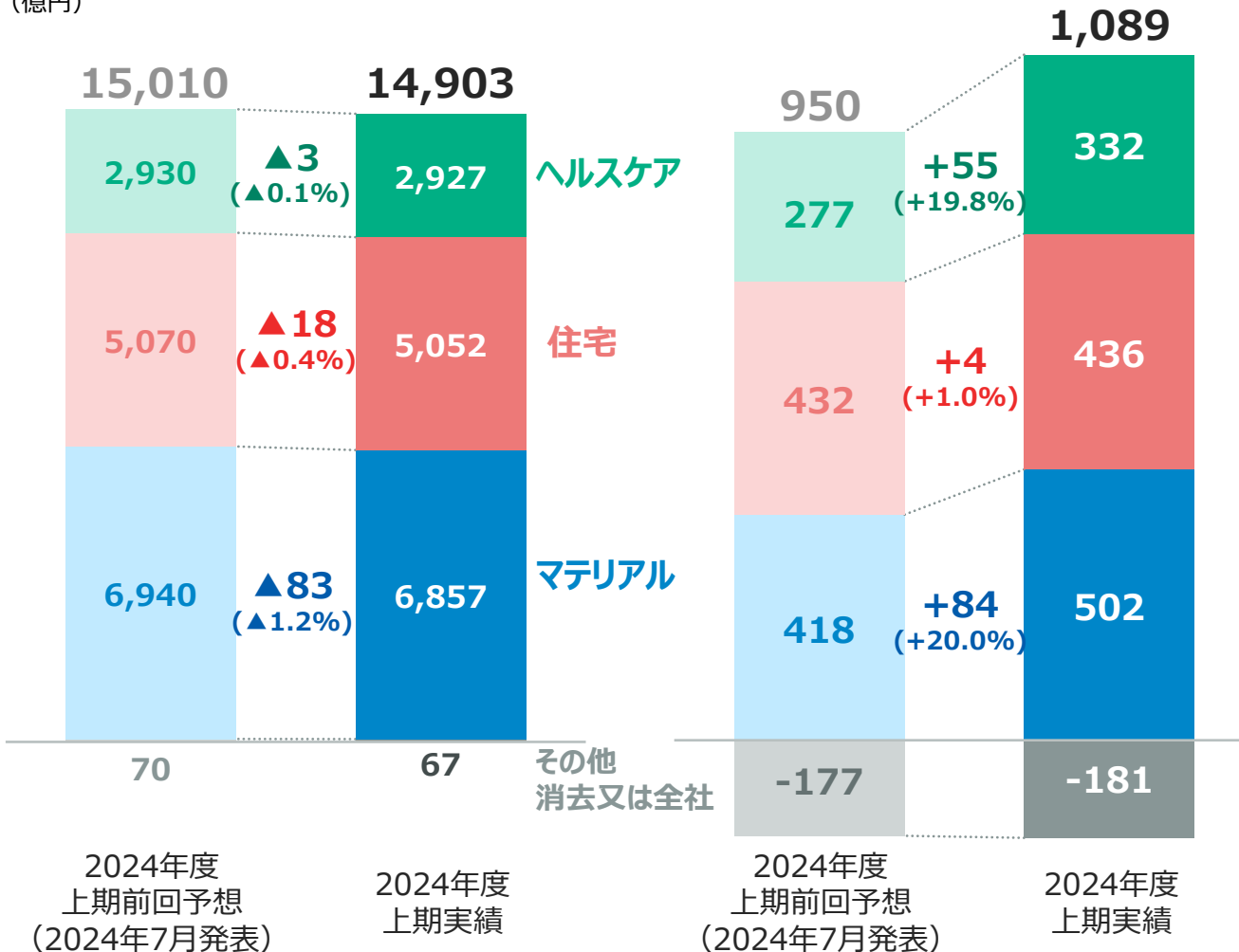
- **環境ソリューション事業+181億円** : 基盤マテリアル事業における石化市況の上昇による交易条件の改善や在庫受払差の影響などにより、増益
- **モビリティ&インダストリアル事業+49億円** : 自動車内装材やエンジニアリング樹脂における販売価格の上昇や円安影響等により、増益
- **ライフソリューション事業+129億円** : デジタルソリューション事業を中心に主力製品の販売が堅調に推移したことや交易条件の改善、円安影響により、増益

2024年度上期実績 (セグメント別：前回 (7月発表) 予想比)

売上高 前回予想比
▲107億円 (▲0.7%)

営業利益 前回予想比
+139億円 (+14.6%)

(億円)



ヘルスケア 売上高 横ばい・営業利益 上振れ

- ・ **医薬・医療事業+47億円**：Envarsus XRの販売好調や固定費の減少により、上振れ

住宅 売上高・営業利益 横ばい

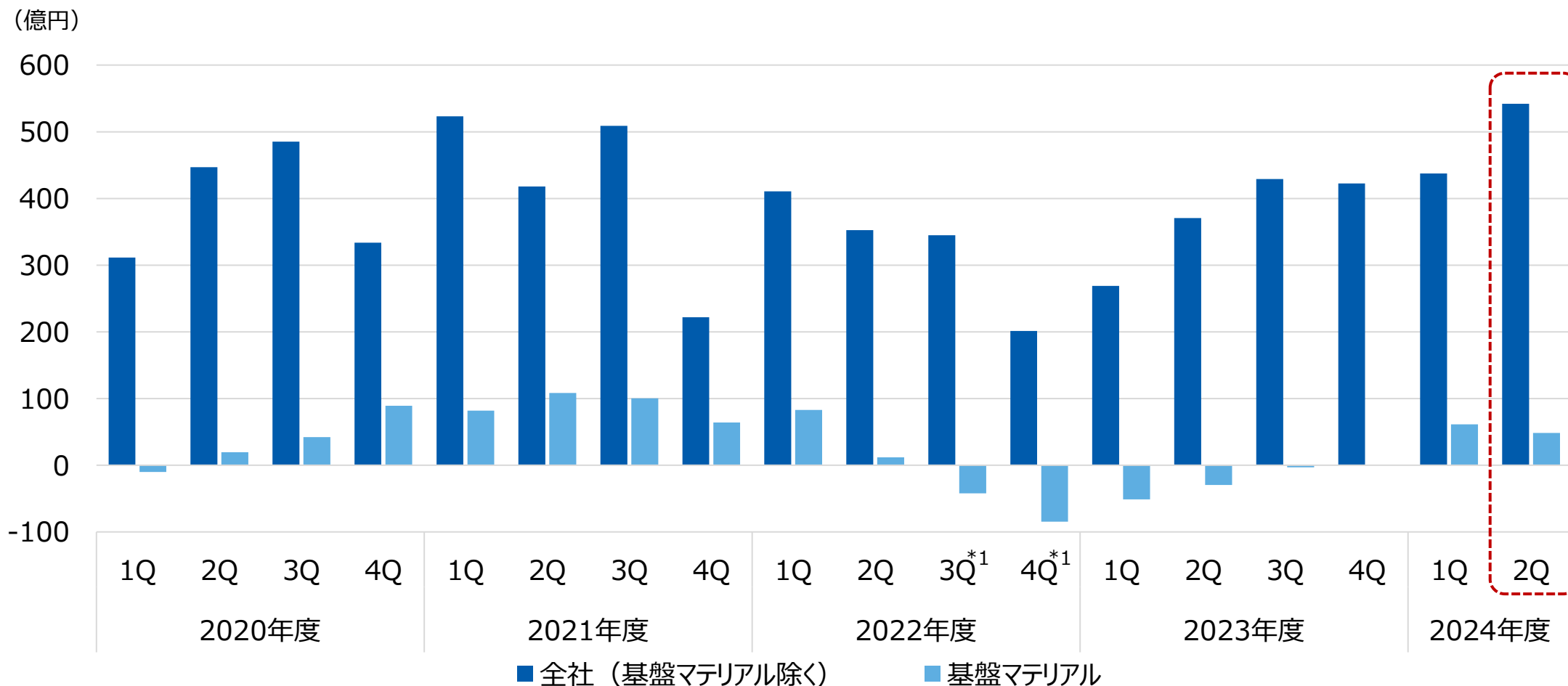
- ・ ほぼ想定通りの着地

マテリアル 売上高 横ばい・営業利益 上振れ

- ・ **環境ソリューション事業+24億円**：基盤マテリアル事業における固定費減少や顧客構成の改善により、上振れ
- ・ **モビリティ&インダストリアル事業+21億円**：自動車内装材の販売量増加やエンジニアリング樹脂の取引条件の改善により、上振れ
- ・ **ライフイノベーション事業+38億円**：主力製品の販売が好調に推移し、上振れ

四半期営業利益推移

2022年度第4四半期を底に、営業利益は改善傾向。2024年度第2四半期の基盤マテリアルを除く営業利益は、過去5年間で最高益



*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

連結損益計算書

前年同期比の
主な増減要因

販管費

円安による海外子会社の販管費の換算額の増加や、Calliditas買収関連費用などにより、増加

営業外損益

受取利息が増加した一方、円高推移により外貨預金の為替差損が発生したことなどにより、悪化

特別損益

事業構造改善費用を計上したことなどにより、悪化

(億円)

	2023年度上期		2024年度上期		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	13,459	100.0%	14,903	100.0%	1,444	10.7%
売上原価	9,567	71.1%	10,203	68.5%	636	6.6%
売上総利益	3,892	28.9%	4,700	31.5%	808	20.8%
販管費	3,333	24.8%	3,611	24.2%	278	8.3%
営業利益	559	4.2%	1,089	7.3%	530	94.9%
営業外損益	-38		-52		-14	
(内、持分法投資損益)	(-0)		(15)		(16)	
経常利益	520	3.9%	1,037	7.0%	517	99.2%
特別損益	19		-66		-85	
税前利益	540	4.0%	971	6.5%	432	80.0%
法人税等	-216		-347		-131	
非支配株主に帰属する中間純利益	-15		-22		-6	
親会社株主に帰属する中間純利益	308	2.3%	602	4.0%	294	95.3%

政策保有株式の売却益を計上した一方、前年同期に計上した事業譲渡益がなくなることや、生産設備の統廃合に伴い事業構造改善費用を計上したことなどにより、悪化

	(億円)		
	2023年度上期	2024年度上期	増減額
投資有価証券売却益	39	73	34
固定資産売却益	2	2	1
受取保険金	20	12	-8
事業譲渡益	30	-	-30
特別利益	90	87	-3
投資有価証券評価損	5	7	2
固定資産処分損	31	35	4
減損損失	0	11	11
製品補償損失	-	18	18
事業構造改善費用	36	83	47
特別損失	71	153	82
特別損益	19	-66	-85

連結貸借対照表

総資産	円高に伴い海外子会社の資産が減少した一方、Calliditas、ODCの新規連結に伴いのれん等が増加
負債	Calliditas、ODC買収に伴い有利子負債が増加
純資産	中間純利益計上に伴い利益剰余金が増加した一方、円高に伴いその他の包括利益累計額が減少

	2024/3月末	2024/9月末	増減額		2024/3月末	2024/9月末	増減額
流動資産	16,500	16,317	-183	負債	18,141	19,850	1,709
現金及び預金	3,381	3,410	29	流動負債	9,146	10,097	951
受取手形、売掛金及び契約資産	4,859	4,636	-224	支払手形及び買掛金	2,133	1,943	-189
棚卸資産	6,788	6,986	198	その他	7,013	8,154	1,140
その他	1,472	1,285	-187	固定負債	8,995	9,753	758
固定資産	20,127	21,568	1,441	純資産	18,486	18,034	-452
有形固定資産	8,533	8,707	174	株主資本	13,119	13,471	352
無形固定資産	7,547	8,915	1,367	資本金	1,034	1,034	-
投資その他の資産	4,047	3,947	-100	資本剰余金	803	804	1
				利益剰余金	11,355	11,705	350
				自己株式	-73	-72	1
				その他の包括利益累計額	5,015	4,200	-815
				非支配株主持分	352	363	11
				負債純資産合計	36,627	37,885	1,258
資産合計	36,627	37,885	1,258				
のれん残高	3,607	5,286	1,680				
有利子負債 ^{*1}	9,170	11,132	1,962				
D/Eレシオ	0.51	0.63	0.12				

(参考)
 24年3月末の為替レート (USD) 151円 / (EUR) 163円
 24年9月末の為替レート (USD) 144円 / (EUR) 160円

*1 リース債務除く

連結キャッシュ・フロー計算書

営業CF	原燃料価格上昇に伴い運転資本が増加した一方、税金等調整前中間純利益が増加したことなどからキャッシュ・インが増加
投資CF	Calliditas、ODC買収に伴うM&A関連のキャッシュ・アウトが増加
財務CF	Calliditas、ODC買収に伴う資金調達額の増加などによりキャッシュ・インに転じた

	(億円)		
	2023年度上期	2024年度上期	増減額
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,339	1,511	172
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-876	-2,793	-1,918
設備投資による支出	-935	-1,087	-152
M&A関連による支出	-	-1,884	-1,884
その他	59	178	119
c. フリー・キャッシュ・フロー (a + b)	464	-1,282	-1,745
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	-431	1,635	2,065
e. 現金及び現金同等物に係る換算差額	244	-312	-556
現金及び現金同等物の増減額 (c + d + e)	277	41	-236

2. 2024年度通期予想

2024年度通期予想（連結）

全セグメントにおいて前期比で増収・増益を見込む。クリティカルケア事業、デジタルソリューション事業等、各セグメントの成長牽引事業の利益成長が寄与。当初予想（2024年5月発表）比は利益を上方修正。「ヘルスケア」はCalliditasの買収関連費用やのれん等償却費のマイナス影響を踏まえても当初予想並みの利益を見込む

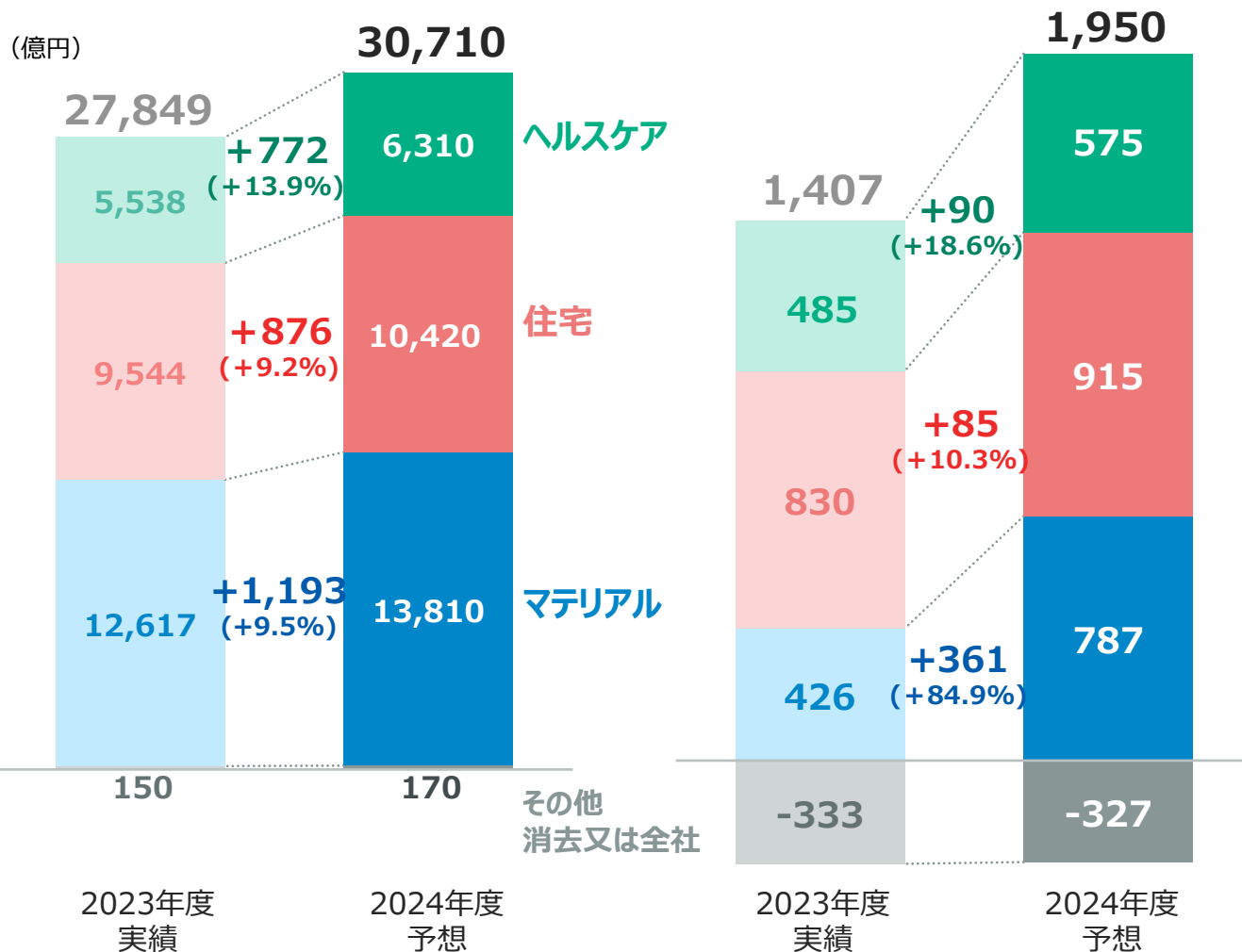
親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の増益などにより前期比で増益、当初予想比でも上方修正

		2023年度			2024年度		前期比		2024年度 当初予想 (2024年5月発表)	増減率	
		上期	下期	2023年度	上期	下期予想	2024年度 予想	増減額			増減率
売上高	(億円)	13,459	14,390	27,849	14,903	15,807	30,710	2,861	10.3%	29,120	5.5%
営業利益	(億円)	559	849	1,407	1,089	861	1,950	543	38.5%	1,800	8.3%
売上高営業利益率		4.2%	5.9%	5.1%	7.3%	5.4%	6.3%			6.2%	
のれん償却前営業利益	(億円)	703	1,000	1,703	1,246	1,044	2,290	587	34.4%	2,087	9.7%
EBITDA	(億円)	1,447	1,783	3,229	1,975	1,835	3,810	581	18.0%	3,560	7.0%
売上高EBITDA率		10.7%	12.4%	11.6%	13.3%	11.6%	12.4%			12.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	308	130	438	602	498	1,100	662	151.1%	1,000	10.0%
EPS	(円)	22.25	9.35	31.60	43.46	36.44	79.90	48.30	152.8%	72.14	10.8%
のれん償却前EPS	(円)	32.68	20.28	52.96	54.80	49.80	104.60	51.64	97.5%	92.84	12.7%
平均為替レート (USD/円)		141円	148円	145円	153円	145円	149円			145円	
平均為替レート (ユーロ/円)		153円	160円	157円	166円	160円	163円			155円	
国産ナフサ価格		65,600円/kl	72,700円/kl	69,200円/kl	78,000円/kl	70,000円/kl	74,000円/kl			74,000円/kl	
1株当たり配当金		18円	18円	36円	18円	18円	36円			36円	
						(予想)	(予想)			(予想)	

2024年度通期予想（セグメント別：前期比）

売上高 前期比
+2,861億円 (+10.3%)

営業利益 前期比
+543億円 (+38.5%)



ヘルスケア 増収・増益

- **医薬・医療事業▲16億円**：各事業の業績が堅調に推移するが、Calliditasの買収によるマイナス影響により、減益
- **クリティカルケア事業+106億円**：除細動器の販売価格上昇や原価低減、LifeVestの数量増加などにより、増益

住宅 増収・増益

- **住宅事業+75億円**：建築請負部門における平均単価上昇やコストダウンにより、増益

マテリアル 増収・増益

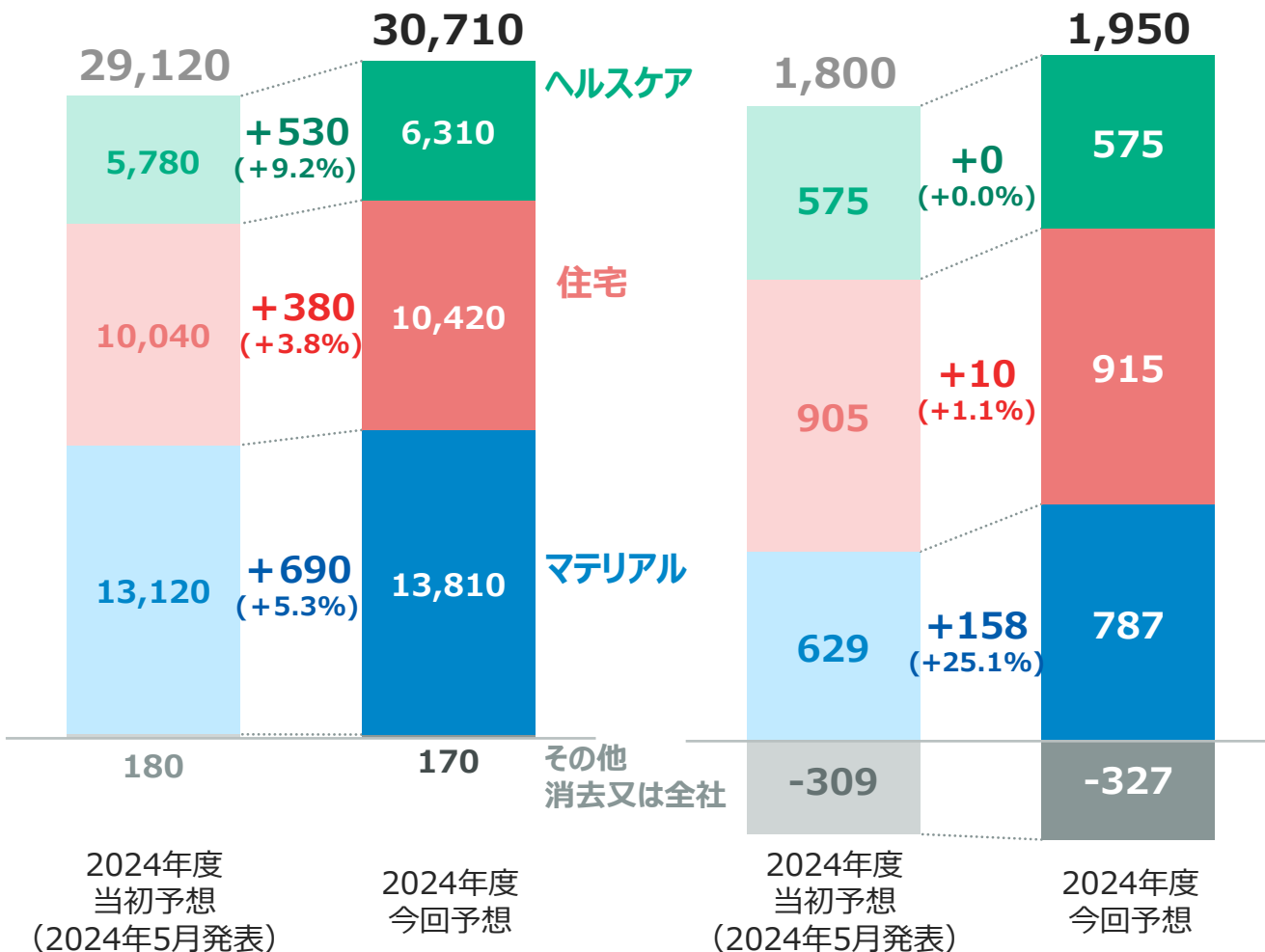
- **環境ソリューション事業+146億円**：基盤マテリアル事業における石化市況の上昇による交易条件の改善や在庫受払差の影響などにより、増益
- **モビリティ&インダストリアル事業+94億円**：自動車内装材やエンジニアリング樹脂における販売価格の上昇や円安影響等により、増益
- **ライフイノベーション事業+141億円**：デジタルソリューション事業を中心に主力製品の販売が堅調に推移することや交易条件の改善により、増益

2024年度通期予想（セグメント別：当初（5月発表）予想比） AsahiKASEI

売上高 当初予想比
+1,590億円（+5.5%）

営業利益 当初予想比
+150億円（+8.3%）

（億円）



ヘルスケア 売上高 上方修正・営業利益 当初予想並み

- **医薬・医療事業▲34億円**：販管費の減少や円安影響はあるが、Calliditasの買収によるマイナス影響により利益を下方修正
- **クリティカルケア事業+34億円**：各事業の業績が堅調に推移することに加え、円安影響などにより利益を上方修正

住宅 売上高 上方修正・営業利益 当初予想並み

- **住宅事業+10億円**：各事業の業績が堅調に推移

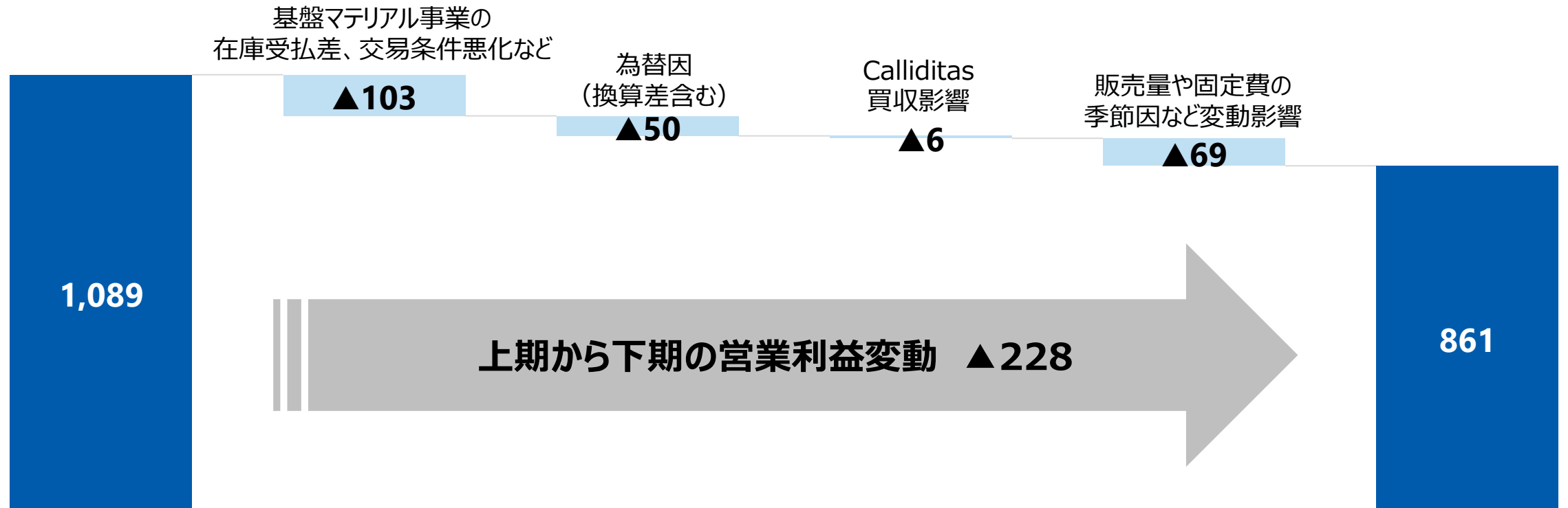
マテリアル 売上高・営業利益 上方修正

- **環境ソリューション事業+53億円**：基盤マテリアル事業において、販売量の増加や操業度改善の影響などにより、利益を上方修正
- **モビリティ&インダストリアル事業+22億円**：自動車内装材の販売量増加などにより、利益を上方修正
- **ライフソリューション事業+87億円**：デジタルソリューション事業を中心に主力製品の販売が好調に推移するため、上方修正

2024年度通期予想（上期から下期の営業利益の変動）

上期から下期にかけては、石化市況や為替の変動によるマイナス影響に加え、販売量や固定費の季節因など変動影響により営業利益は減少するが、事業環境は引き続き堅調に推移すると見込む

(億円)



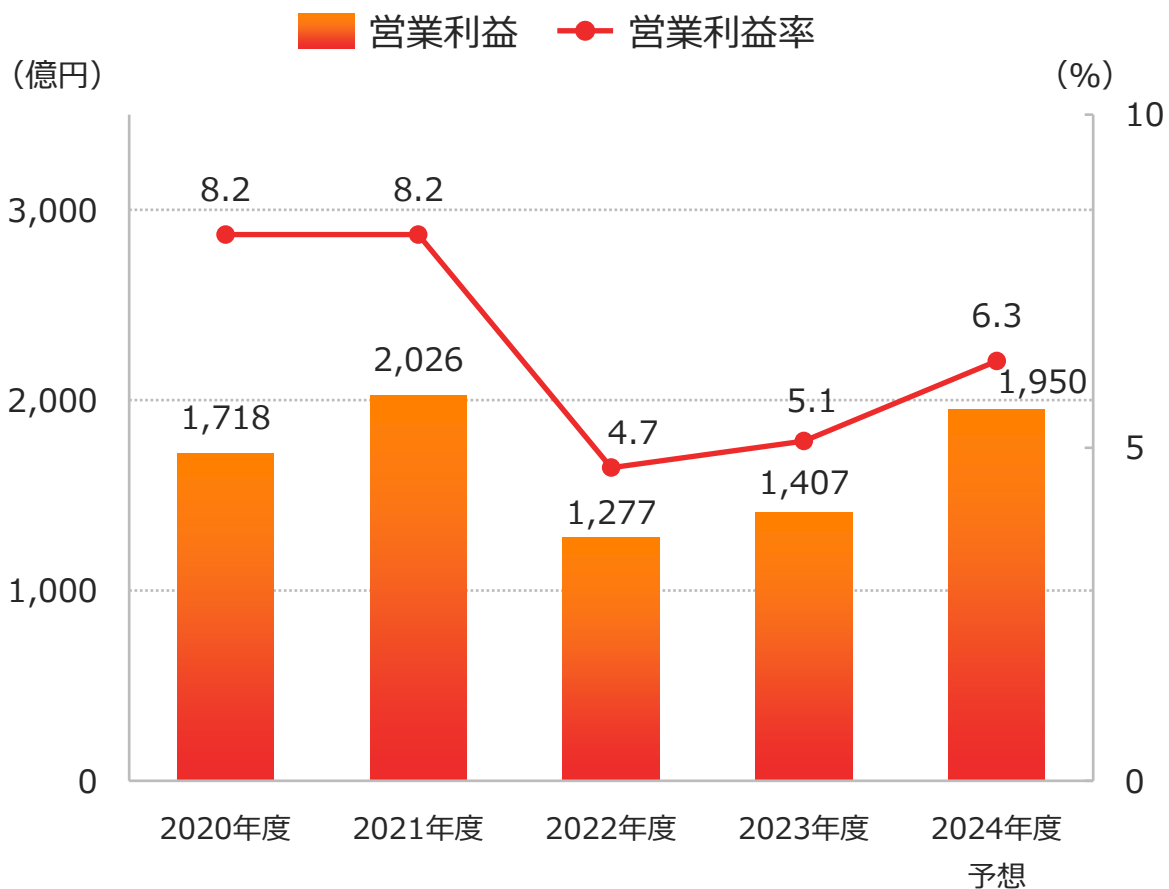
2024年度
上期

2024年度
下期

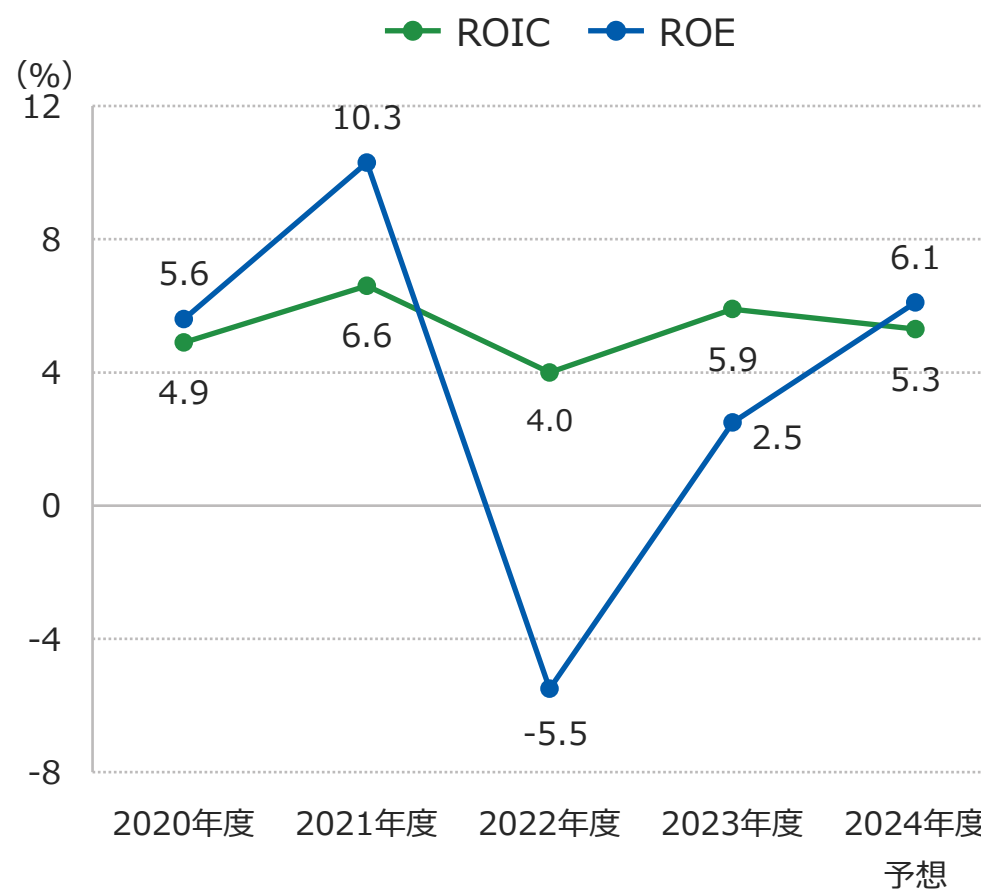
営業利益率は、成長牽引事業の利益成長や石化市況の改善等により前期比で改善を見込む

ROEは、成長牽引事業の利益成長や石化市況の改善等に伴い当期純利益が改善することなどから、前期比で改善を見込む

営業利益／営業利益率の推移



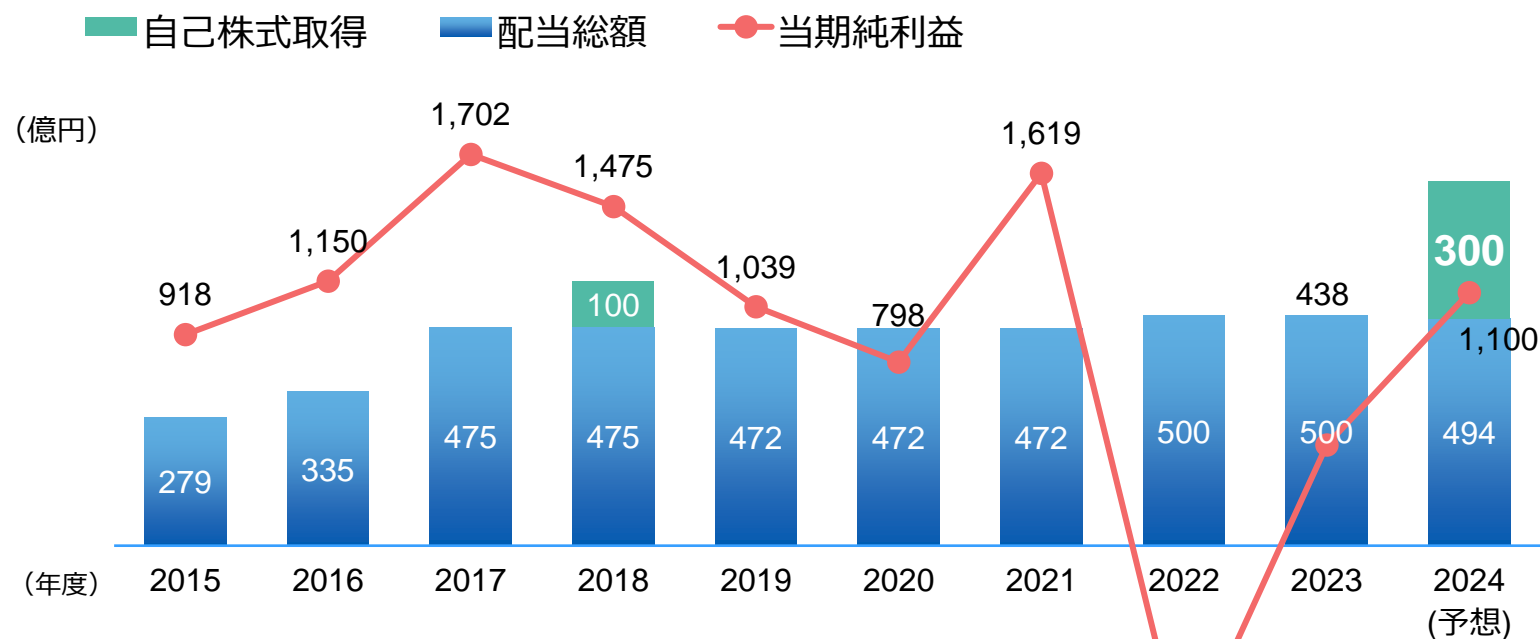
ROIC*1／ROEの推移



*1 ROIC = (営業利益 - 法人税等) ÷ 期中平均投下資本

株主還元方針に従い、中間配当は18円とし、年間配当は36円を予想（変更なし）

資本効率の向上および株主還元の充実を図るため、**300億円を上限に自己株式取得の実施を決定**



株主還元方針

- 1 中期的なFCFの見通しから、株主還元の水準を判断する
- 2 配当による株主還元を基本とし、1株当たり配当金の維持・増加を目指す
- 3 配当性向30～40%（中計3年間累計）を目安とし、配当水準の安定的向上を図る
- 4 自己株式取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況などを総合的に勘案して検討・実施する

配当性向	30.4%	29.1%	27.9%	32.2%	45.4%	59.1%	29.1%	—	113.9%	45.1%
1株当たり配当金(円)	20	24	34	34	34	34	34	36	36	36

3. セグメント別詳細

2024年度より、従来「モビリティ&インダストリアル事業」に含めていた一部事業を、「環境ソリューション事業」へ移管している。それに伴い、本ページ以降<組替後>と表示している箇所では、2023年度の実績について開示区分変更を反映した数値を記載している

売上高	2023年度 <組替前>			
	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	2,968	3,134	3,289	3,226
環境ソリューション事業	1,146	1,201	1,328	1,274
うち 基盤マテリアル事業	662	721	808	744
モビリティ&インダストリアル事業	918	960	960	980
ライフイノベーション事業	903	973	1,000	972
うち デジタルソリューション事業	294	317	331	343
マテリアル共通	2	0	0	0



2023年度 <組替後>			
1Q	2Q	3Q	4Q
2,968	3,134	3,289	3,226
1,162	1,218	1,348	1,292
662	721	808	744
901	943	941	962
903	973	1,000	972
294	317	331	343
2	0	0	0

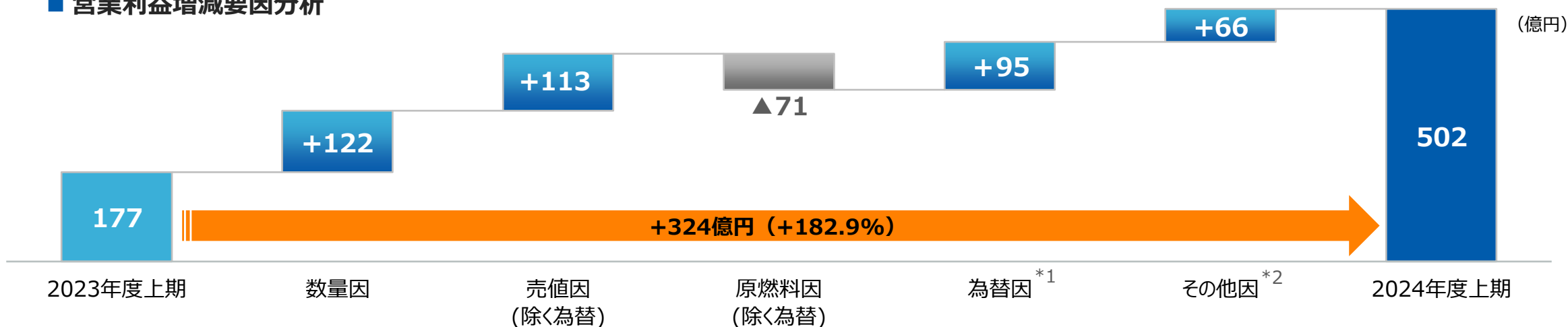
営業利益	2023年度 <組替前>			
	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	76	101	130	118
環境ソリューション事業	-7	-11	20	16
うち 基盤マテリアル事業	-51	-29	-3	0
モビリティ&インダストリアル事業	30	39	16	45
ライフイノベーション事業	45	72	98	69
うち デジタルソリューション事業	20	33	40	33
マテリアル共通	8	2	-4	-12



2023年度 <組替後>			
1Q	2Q	3Q	4Q
76	101	130	118
-7	-9	22	17
-51	-29	-3	0
30	37	14	45
45	72	98	69
20	33	40	33
8	2	-4	-12

ライフイノベーション事業を中心とした数量因や、原燃料コストを踏まえた適正なプライシングによる売値因、円安による為替因などのプラスにより、増益

■ 営業利益増減要因分析

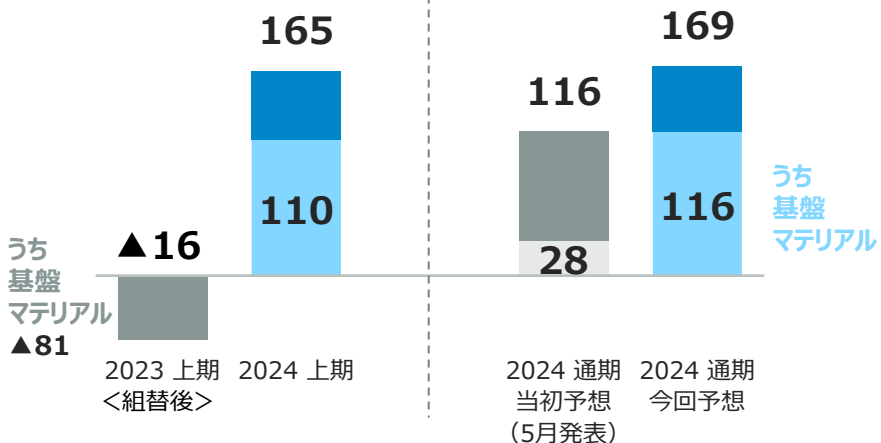


	売上高				営業利益								
	2023年度上期 <組替後>	2024年度上期	増減額	増減率	2023年度上期 <組替後>	2024年度上期	増減額	増減率	内訳				
									数量因	売値因 (除く為替)	原燃料因 (除く為替)	為替因 ^{*1}	その他因 ^{*2}
マテリアルセグメント	6,102	6,857	755	12.4%	177	502	324	182.9%	122	113	-71	95	66
環境ソリューション事業	2,380	2,792	411	17.3%	-16	165	181	-	26	75	-58	37	101 ^{*3}
うち 基盤マテリアル事業	1,383	1,665	281	20.3%	-81	110	190	-					
モビリティ&インダストリアル事業	1,844	2,042	198	10.8%	67	116	49	73.7%	-3	40	-14	25	2
ライフイノベーション事業	1,875	2,023	148	7.9%	117	246	129	110.4%	99	-1	14	33	-16
うち デジタルソリューション事業	610	725	114	18.7%	53	128	75	143.0%					
マテリアル共通	3	0	-3	-99.0%	10	-26	-35	-	-	-	-13 ^{*3}	-	-22 ^{*3}

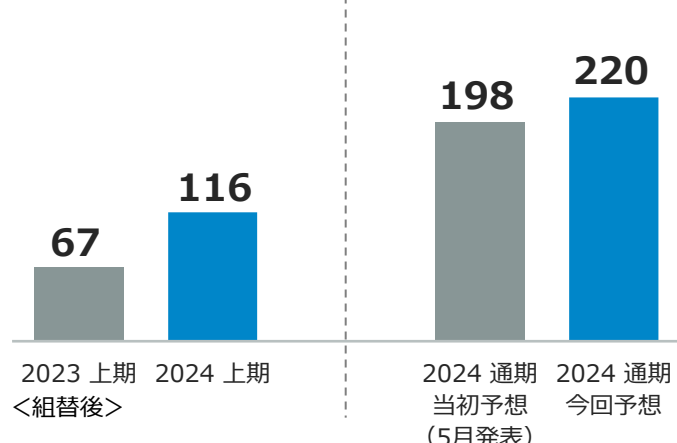
*1 売値因・原燃料因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、在庫影響等 *3 環境ソリューションの営業利益の「その他因」には社内売値差が含まれているが、マテリアル全体としては「原燃料因」に含まれるものであるため、要因分析の補正として、相当する額をマテリアル共通の「原燃料因」と「その他因」にそれぞれプラスとマイナスで含めて表示している

■ 営業利益（億円）

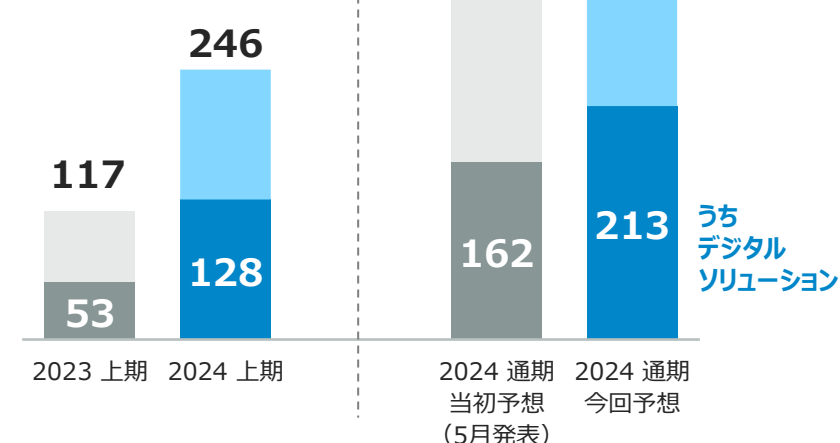
環境ソリューション



モビリティ&インダストリアル



ライフイノベーション



主な事業		2024年度上期 vs 2023年度上期 (YoY)		2024年度通期 今回予想 vs 当初予想 (5月発表)	
環境ソリューション	セパレータ	↘	LIB用セパレータの販売量は前年同期並みとなった一方、前年の操業度悪化による在庫影響などにより、減益	↘	EV需要減速の影響を受けLIB用セパレータの販売量が想定を下回ることや操業度の調整、分社関連費用の増加などにより、下方修正
	基盤マテリアル	↗	交易条件の改善や石化市況の上昇による在庫受払差の影響などにより、増益	↗	販売量の増加や操業度改善などにより、上方修正
モビリティ&インダストリアル	自動車内装材	↗	価格転嫁や円安による交易条件の改善により、増益	↗	北米や中国向けの販売が想定を上回り、上方修正
	エンジニアリング樹脂	↗	太陽電池用途などの販売量が増加したことに加え、円安により交易条件が改善したことなどにより、増益	↗	自動車用途を中心に販売量が想定を下回るが、価格転嫁などにより、当初予想並み
ライフイノベーション	デジタルソリューション	↗	AIサーバーやハイエンドスマホ向け電子材料、カメラモジュール向け電子部品などが堅調に推移したことに加え、円安による交易条件改善もあり、増益	↗	主力製品の需要が想定を上回り、上方修正

(億円)

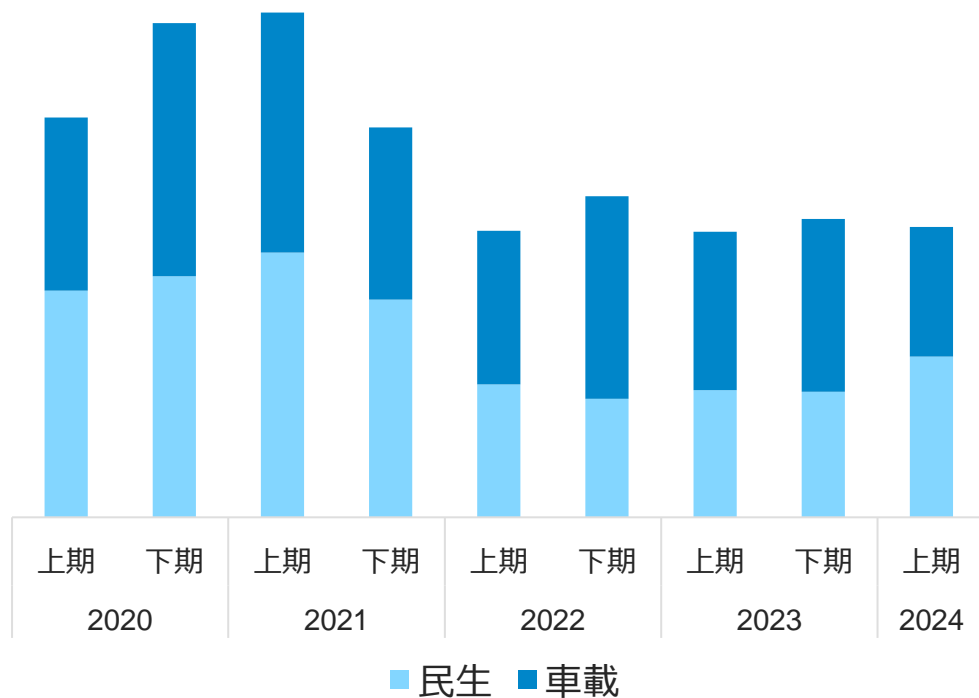
売上高	＜組替後＞			2024年度			前期比		(参考)	
	上期	下期	2023年度	上期	下期予想	2024年度 予想	増減額	増減率	2024年度 当初予想 (2024年5月発表)	増減率
マテリアルセグメント	6,102	6,515	12,617	6,857	6,953	13,810	1,193	9.5%	13,120	5.3%
環境ソリューション事業	2,380	2,640	5,020	2,792	2,838	5,630	610	12.1%	5,170	8.9%
うち 基盤マテリアル事業	1,383	1,552	2,935	1,665	1,725	3,390	455	15.5%	3,060	10.8%
モビリティ&インダストリアル事業	1,844	1,903	3,747	2,042	1,998	4,040	293	7.8%	3,940	2.5%
ライフイノベーション事業	1,875	1,972	3,847	2,023	2,117	4,140	293	7.6%	4,010	3.2%
うち デジタルソリューション事業	610	674	1,285	725	725	1,450	165	12.9%	1,380	5.1%
マテリアル共通	3	0	3	0	-0	0	-3	-99.6%	-	-

営業利益	＜組替後＞			2024年度			前期比		(参考)	
	上期	下期	2023年度	上期	下期予想	2024年度 予想	増減額	増減率	2024年度 当初予想 (2024年5月発表)	増減率
マテリアルセグメント	177	248	426	502	285	787	361	84.9%	629	25.1%
環境ソリューション事業	-16	39	23	165	4	169	146	639.1%	116	45.7%
うち 基盤マテリアル事業	-81	-3	-84	110	6	116	200	-	28	315.8%
モビリティ&インダストリアル事業	67	59	126	116	104	220	94	75.0%	198	11.3%
ライフイノベーション事業	117	166	283	246	178	424	141	49.6%	337	25.6%
うち デジタルソリューション事業	53	73	125	128	85	213	88	69.8%	162	31.2%
マテリアル共通	10	-16	-6	-26	-0	-26	-20	-	-22	-

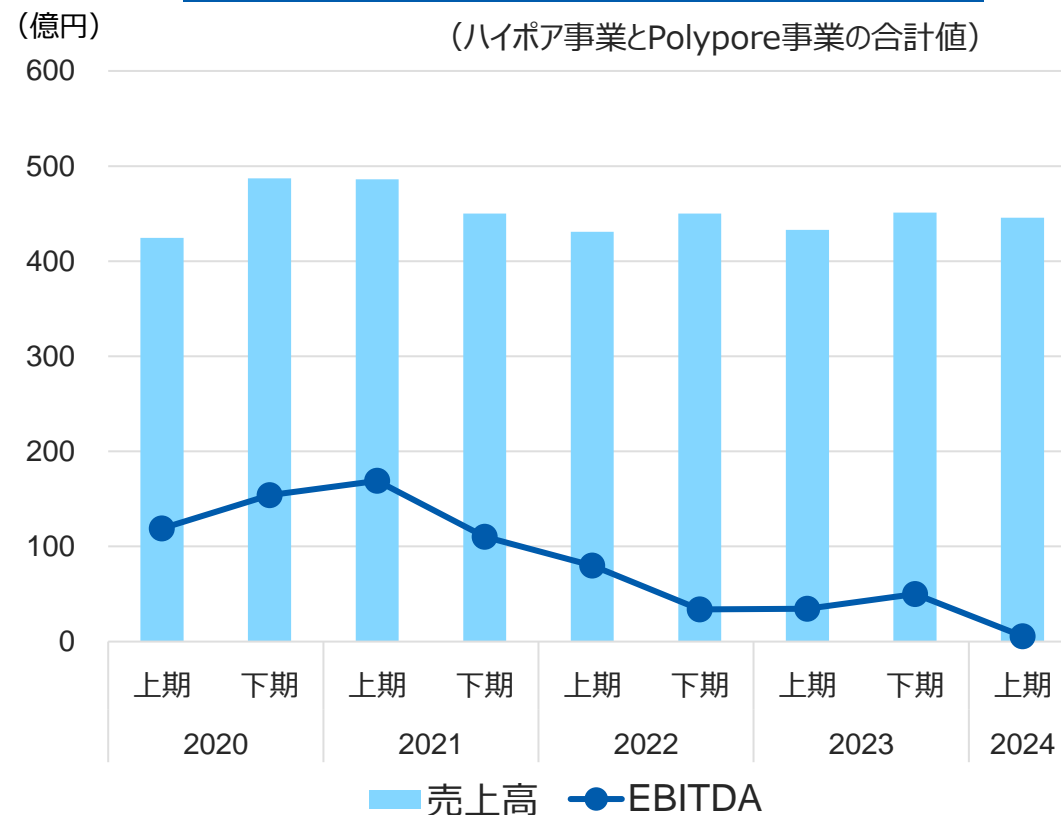
ハイポア（LIB用湿式セパレータ）は市場の成長に合わせて事業拡大してきたが、2021年度下期より自動車減産の影響による車載用途の需要減少や中国の景気後退を背景とした民生用途の需要減少により、販売量が減少。加えて、操業度の低下の影響もありEBITDAも低水準

欧米におけるEV需要減速の影響を受け、2024年度は厳しい状況が続く見通したが、コスト削減など収益改善に取り組む

ハイポアの販売量推移



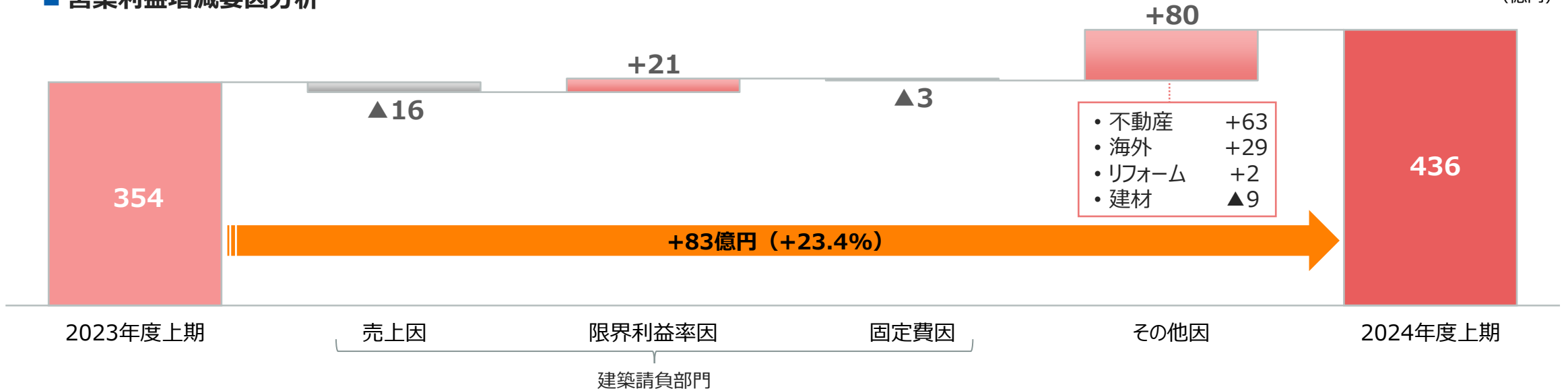
セパレータ事業の業績推移



建築請負部門において、数量減少による売上因のマイナスを平均単価の上昇とコストダウンによりカバーした他、不動産部門や海外事業部門が順調に推移したことにより、増益

■ 営業利益増減要因分析

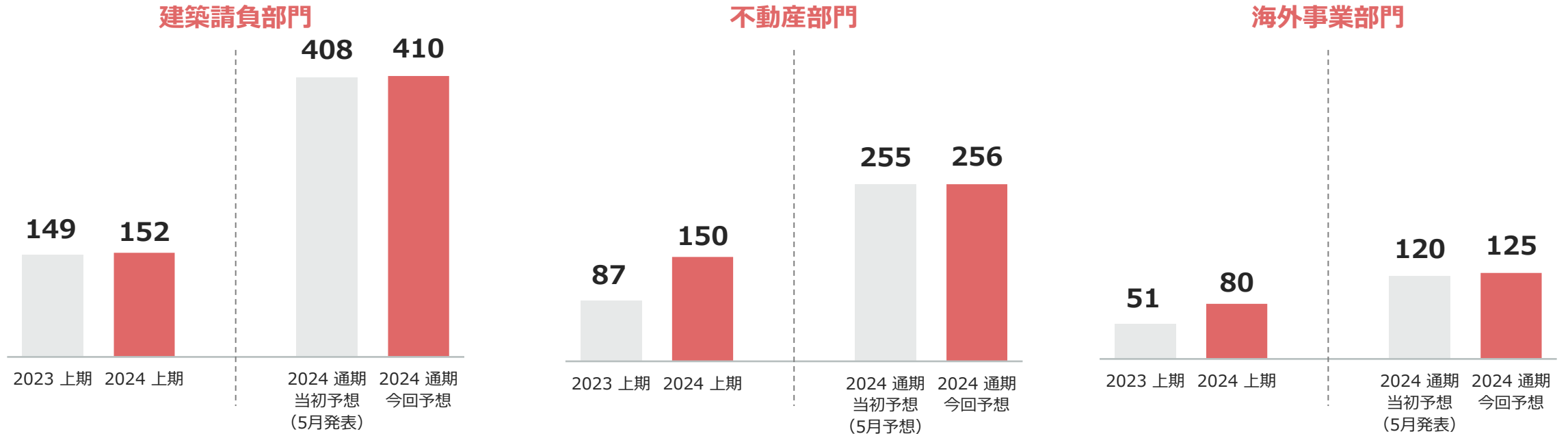
(億円)



	売上高				営業利益							
	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額	増減率	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額	増減率	内訳			
									建築請負部門			その他因
売上因	限界利益率因	固定費因										
住宅セグメント	4,626	5,052	425	9.2%	354	436	83	23.4%	-16	21	-3	80
住宅事業	4,406	4,842	436	9.9%	327	419	92	28.1%	-16	21	-3	90 ^{*1}
建材事業	220	209	-10	-4.8%	26	17	-9	-34.9%	-	-	-	-9

*1 不動産、リフォーム、海外、その他

■ 営業利益（億円）



主な事業		2024年度上期 vs 2023年度上期 (YoY)		2024年度通期 今回予想 vs 当初予想 (5月発表)	
住宅	建築請負部門	➡	数量減少を物件の大型化・高付加価値化による平均単価の上昇やコストダウンでカバーし、前年同期並み	➡	当初予想並み
	不動産部門	➡	賃貸管理事業の管理戸数が堅調に増加した他、分譲マンションの販売戸数が大幅に増加し、増益	➡	当初予想並み
	海外事業部門	➡	円安に加えて、北米事業は住宅需要が落ち込んだ前年同期に対して数量が回復し、豪州事業は価格転嫁が進んだため、増益	➡	当初予想並み

(億円)

売上高	上期	下期	2023年度	2024年度		2024年度 予想	前期比		(参考)	
				上期	下期予想		増減額	増減率	2024年度 当初予想 (2024年5月発表)	増減率
住宅セグメント	4,626	4,918	9,544	5,052	5,368	10,420	876	9.2%	10,040	3.8%
住宅事業	4,406	4,722	9,129	4,842	5,158	10,000	871	9.5%	9,600	4.2%
建築請負部門	1,956	2,054	4,010	1,940	2,199	4,140	130	3.2%	4,180	-1.0%
不動産部門	871	1,145	2,016	1,144	1,086	2,230	214	10.6%	2,240	-0.4%
リフォーム部門	279	283	563	280	305	585	22	4.0%	600	-2.5%
海外事業部門	1,294	1,233	2,528	1,464	1,536	3,000	472	18.7%	2,540	18.1%
その他	6	7	13	13	32	45	32	248.3%	40	13.7%
建材事業	220	195	415	209	211	420	5	1.1%	440	-4.5%

営業利益	上期	下期	2023年度	2024年度		2024年度 予想	前期比		(参考)	
				上期	下期予想		増減額	増減率	2024年度 当初予想 (2024年5月発表)	増減率
住宅セグメント	354	476	830	436	479	915	85	10.3%	905	1.1%
住宅事業	327	468	795	419	451	870	75	9.4%	860	1.2%
建築請負部門	149	200	349	152	258	410	61	17.5%	408	0.5%
不動産部門	87	165	252	150	105	256	3	1.4%	255	0.2%
リフォーム部門	32	34	66	34	39	73	7	10.0%	70	3.9%
海外事業部門	51	64	115	80	45	125	10	8.8%	120	4.2%
その他	8	5	13	3	4	7	-6	-48.9%	7	-5.4%
建材事業	26	8	34	17	28	45	11	31.1%	45	0.0%

建築請負部門の上期受注高は、新たなマーケティング戦略への過渡期だった前年同期に対し、+10.8%。下期も上期並みの受注を目指す

近年の集合住宅の好調な業績を受け、不動産部門における賃貸管理事業が着実に拡大

(単位：億円、()内は対前年同期比)

		建築請負部門						不動産部門		
		受注		売上高				売上高 ^{*1}		
		受注高	受注残	戸建系	集合系	他	合計	開発	賃貸・仲介	合計
2022年度	上期	1,912 (-7.3%)	5,481	1,309	555	102	1,966	117	694	811
	下期	1,644 (-7.6%)	5,030	1,349	655	137	2,141	352	732	1,084
	通期	3,556 (-7.5%)		2,658	1,210	239	4,107	469	1,426	1,895
2023年度	1Q	772 (-16.4%)	5,090	551	324	66	942	36	367	403
	2Q	1,093 (10.7%)	5,250	586	369	59	1,014	91	377	468
	上期	1,865 (-2.4%)		1,137	693	125	1,956	127	744	871
	下期	2,074 (26.2%)	5,204	1,166	740	147	2,054	342	804	1,145
	通期	3,939 (10.8%)		2,303	1,433	273	4,010	468	1,548	2,016
2024年度	1Q	888 (15.0%)	5,426	501	328	82	911	109	388	497
	2Q	1,179 (7.8%)	5,715	575	373	82	1,030	232	415	647
	上期	2,066 (10.8%)		1,076	701	163	1,940	341	803	1,144
	下期予想	2,069 (-0.2%)	5,555				2,199	204	882	1,086
	通期予想	4,136 (5.0%)					4,140	545	1,685	2,230

*1 不動産部門の売上高の内訳について、「開発事業」に分譲マンション事業などの売上高、「賃貸・仲介事業」に賃貸事業と仲介事業の売上高の合計値を表示するように変更している（2022年度の売上高を遡って修正）

2024年度上期実績

(右欄：前期比)

	受注高（億円）		受注戸数（戸）		引渡戸数（戸）*2	
戸建系	1,221	5.5%	2,365	-6.3%	2,275	-18.1%
集合系	845	19.3%	2,764	1.3%	2,368	-17.8%
その他（分譲）	-	-	-	-	20	25.0%
建築請負部門合計	2,066	10.8%	5,129	-2.3%	4,663	-17.8%

2024年度通期予想

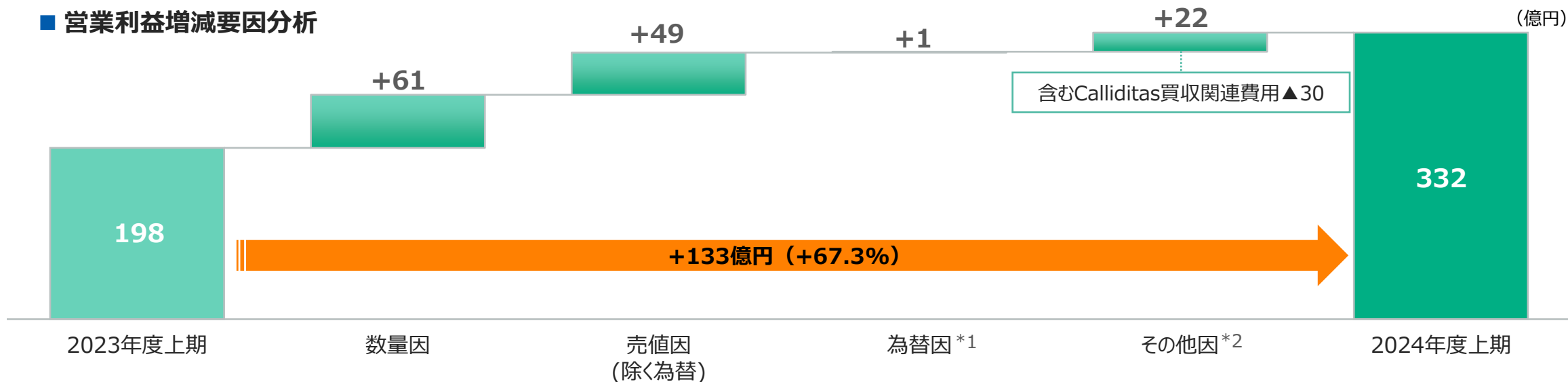
	受注高（億円）		受注戸数（戸）		引渡戸数（戸）*2	
戸建系	2,395	1.3%	4,620	-11.7%	5,290	-11.4%
集合系	1,741	10.5%	5,650	0.9%	5,900	-13.6%
その他（分譲）	-	-	-	-	35	16.7%
建築請負部門合計	4,136	5.0%	10,270	-5.2%	11,225	-12.5%

*1 受注高、受注戸数、引渡戸数、いずれも国内のみ

*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。よって、「引渡戸数」は売上高に連動しない

主力製品の販売量増加による数量因や為替換算差によるその他因のプラスがあったことに加え、クリティカルケア事業において、除細動器の販売価格の上昇による売値因のプラスがあり、増益

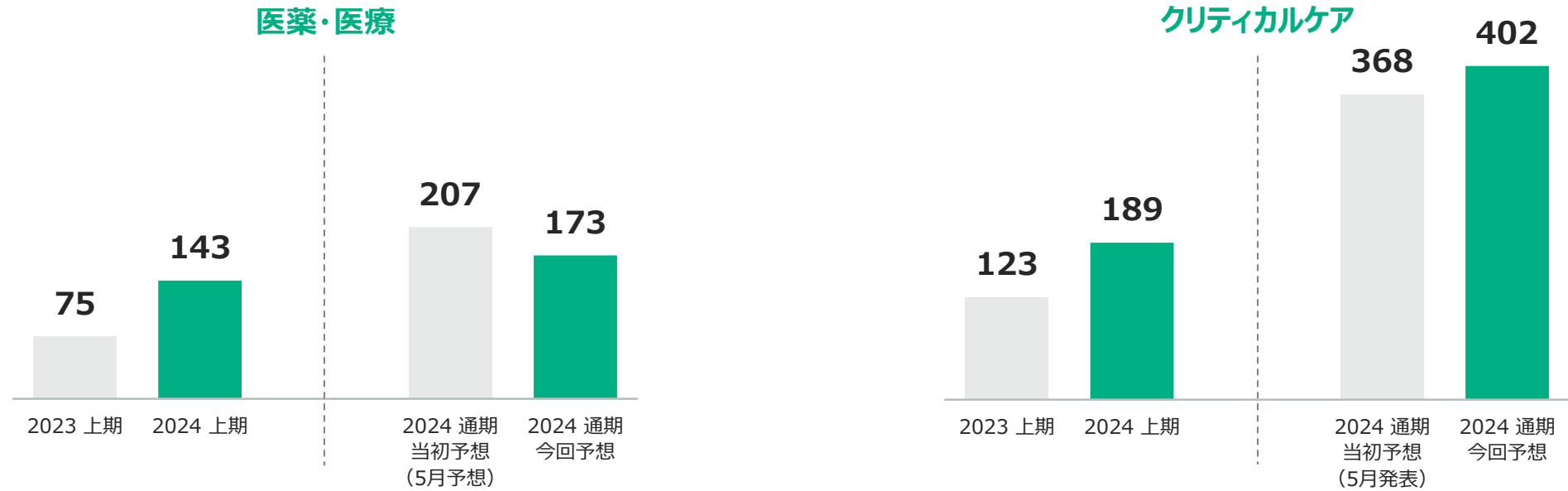
■ 営業利益増減要因分析



	売上高				営業利益							
	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額	増減率	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額	増減率	内訳			
									数量因	売値因 (除く為替)	為替因*1	その他因*2
ヘルスケアセグメント	2,665	2,927	262	9.8%	198	332	133	67.3%	61	49	1	22
医薬・医療事業	1,009	1,135	127	12.6%	75	143	67	89.7%	62	-1	2	5
クリティカルケア事業	1,657	1,792	136	8.2%	123	189	66	53.6%	-0	50	-1	17

*1 売値因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、ライセンス導入・導出等の一時収益・費用、新規連結 など

■ 営業利益（億円）



主な事業		2024年度上期 vs 2023年度上期 (YoY)		2024年度通期 今回予想 vs 当初予想 (5月発表)	
医薬・医療	医薬	➔	Calliditas買収関連費用の影響があったが、主力製剤の販売量の増加などにより、増益	➔	販管費の減少や円安影響はあるが、Calliditasの買収によるマイナス影響により、利益を下方修正
	医療	➔	プラノバの販売量の増加や円安により、増益	➔	円安影響により、上方修正
クリティカルケア	LifeVest	➔	数量の増加や円安影響により、増益	➔	想定を上回る売上の進捗に加え、販管費の減少や円安影響により、上方修正
	除細動器	➔	販売価格の上昇や原価低減により、増益	➔	想定を上回る売上の進捗に加え、販管費の減少や円安影響により、上方修正

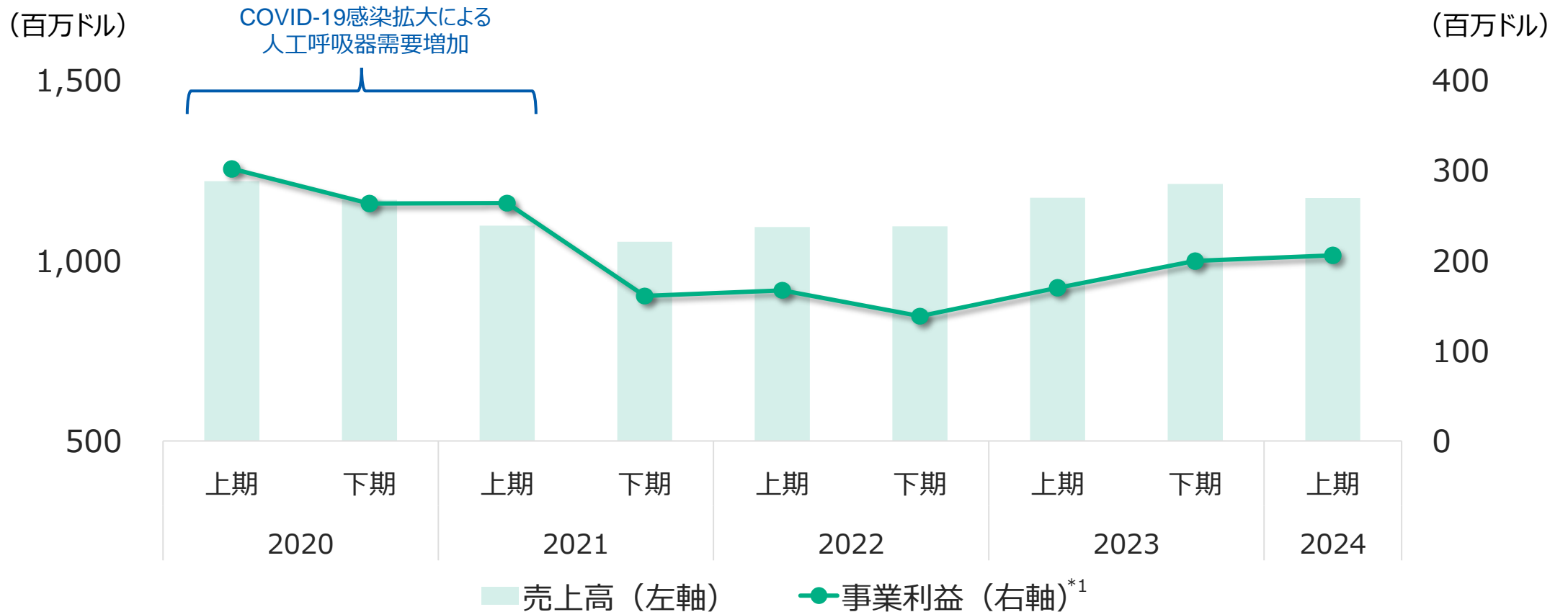
(億円)

売上高	2023年度			2024年度 予想			前期比		(参考)	
	上期	下期		上期	下期予想		増減額	増減率	2024年度 当初予想 (2024年5月発表)	増減率
ヘルスケアセグメント	2,665	2,873	5,538	2,927	3,383	6,310	772	13.9%	5,780	9.2%
医薬・医療事業	1,009	1,075	2,084	1,135	1,315	2,450	366	17.6%	2,260	8.4%
医薬事業	563	595	1,158	662	848	1,510	352	30.4%	1,310	15.3%
医療事業	445	480	926	473	467	940	14	1.5%	950	-1.1%
クリティカルケア事業	1,657	1,797	3,454	1,792	2,068	3,860	406	11.8%	3,520	9.7%

営業利益	2023年度			2024年度 予想			前期比		(参考)	
	上期	下期		上期	下期予想		増減額	増減率	2024年度 当初予想 (2024年5月発表)	増減率
ヘルスケアセグメント	198	287	485	332	243	575	90	18.6%	575	0.0%
医薬・医療事業	75	114	189	143	30	173	-16	-8.5%	207	-16.4%
クリティカルケア事業	123	173	296	189	213	402	106	35.9%	368	9.2%

EBITDA	2023年度			2024年度 予想			前期比		(参考)	
	上期	下期		上期	下期予想		増減額	増減率	2024年度 当初予想 (2024年5月発表)	増減率
ヘルスケアセグメント	540	647	1,187	698	675	1,373	186	15.7%	1,266	8.4%
医薬・医療事業	217	265	482	296	255	551	69	14.4%	503	9.6%
クリティカルケア事業	323	382	705	401	420	822	117	16.5%	763	7.7%

2021年度下期より、AED等における部材調達難の影響や、北米での医療機関向け除細動器の受注減少等により、一時的に利益が落ち込んだが、2023年度以降は成長路線に回帰。



*1 「事業利益」は以下ののれん、無形固定資産等償却額を除く営業利益
 ・2012年4月の当社によるZOLL買収に伴う日本会計基準・米国会計基準に基づく償却額
 ・それ以降ZOLLが実施した買収に伴う日本会計基準に基づく償却額

(売上高の対象地域、単位)	2023年度		2024年度	上期 前年同期比	
	上期	年間	上期	増減額	増減率
<旭化成ファーマ>					
テリボン (国内、億円)	194	388	205	12	6.2%
リクラスト (")	6	13	6	-0	-1.7%
ケブザラ (")	54	112	55*	1	1.7%
プラケニル (")	29	58	32	3	11.1%
リコモジュリン (")	41	82	35	-7	-16.3%
クレセンバ (")	3	6	16	13	420.5%
エムパベリ (")	1	7	10	10	1,129.7%
<Veloxis>					
Envarsus XR (米国、百万ドル)	107	220	135	28	26.1%

*2024年5月～9月までの限定出荷の影響あり

製品名	一般名	薬効・分類	適応症	剤形
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン：PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
ケブザラ	サリルマブ (遺伝子組換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩	免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ (遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC (汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
クレセンバ	イサブコナゾニウム硫酸塩	深在性真菌症治療剤	アスペルギルス症、ムーコル症、クリプトコックス症	カプセル剤、 注射剤
エムパベリ	ペグセタコプラン皮下注製剤	補体 (C3) 阻害剤	発作性夜間ヘモグロビン尿症	注射剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植	錠剤

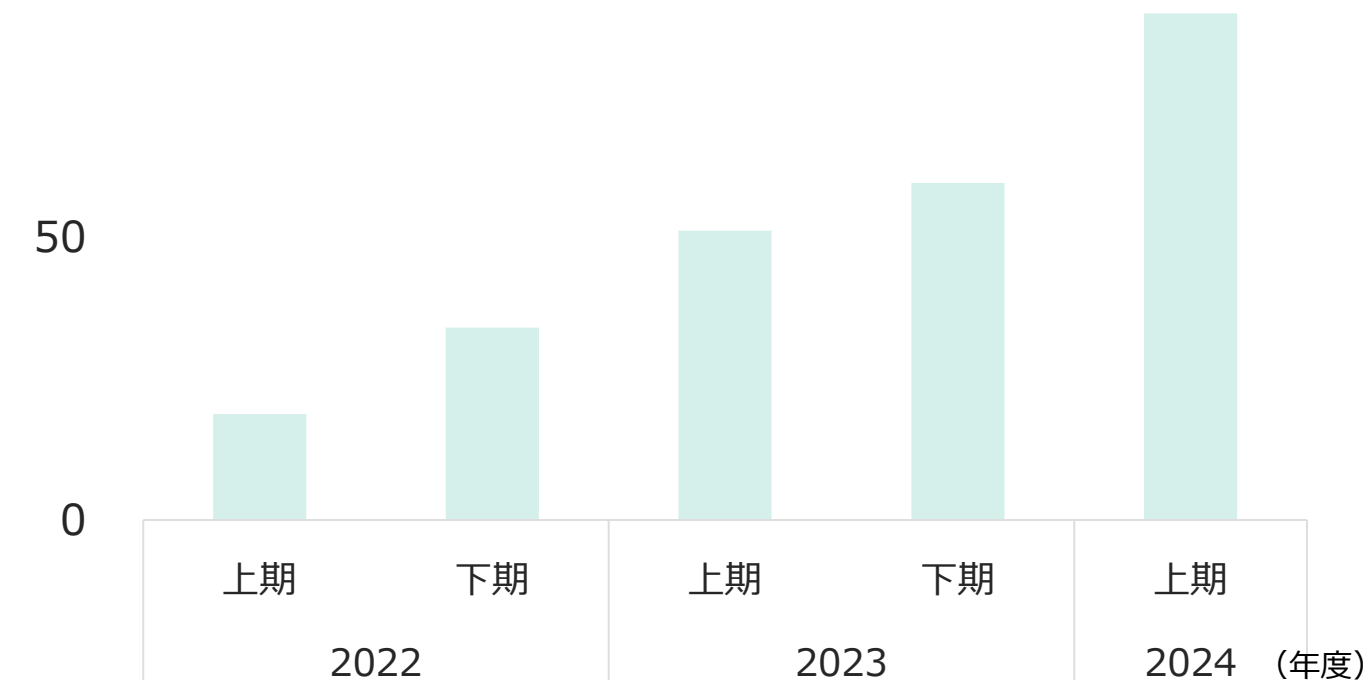
Calliditasの株式公開買い付けによる買収を完了し、2024年10月よりPL連結開始。同社の上市済みの製剤である「Tarpeyo」の販売は堅調に伸びており、2030年度以降にピーク売上高500百万ドル超を見込む。また、Calliditasののれん等償却後の営業利益は2025年度に黒字化を想定

(百万ドル)

米国Tarpeyo売上高推移

当社連結前の参考情報

Calliditasの決算情報（暦年）を基に、年度（4～3月）実績に組み替えて表示



Calliditas概要

- 名称：Calliditas Therapeutics AB
- 所在地：スウェーデン、ストックホルム
- 販売製品：IgA腎症の治療薬
「Tarpeyo（タルペーヨ）」
- ✓ 「Tarpeyo」は IgA腎症の治療薬として初めて承認された医薬品*¹
- ✓ IgA腎症はまだ完全に原因が解明されていない希少疾患
- ✓ 主要市場である米国にて今後、処方患者数が拡大し、成長の加速が期待される*²

*1 腎機能低下の抑制を証明しFDAに承認された初の医薬品

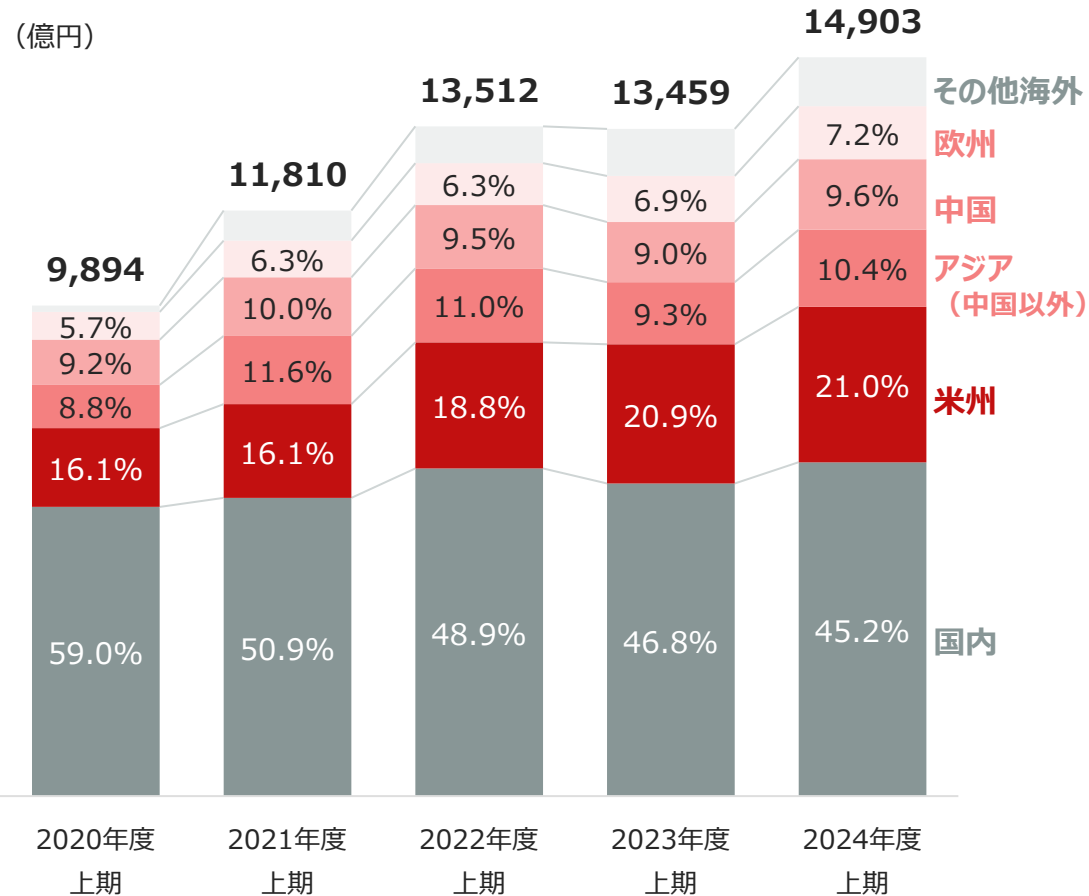
*2 欧州・中国・日本市場は提携先企業が上市または開発中

		開発コード（一般名）	適応症	起源	開発	備考（地域他）
国内	承認済み	AK1820 (イサブコナゾニウム硫酸塩)	アスペルギルス症・ムーコル症 クリプトコックス症	導入	自社	販売名「クレセンバ」 剤形追加
	フェーズⅢ	TA799 (アプラグルチド)	短腸症候群	導入	他社	日本におけるフェーズⅠは 当社が実施
	フェーズⅡ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	効能追加 (日米共同フェーズⅠ完了)
	フェーズⅡ	AK1830	変形性関節症に伴う疼痛	導入	自社	
	フェーズⅡ		慢性腰痛症に伴う疼痛			
	フェーズⅠ	AK1910	自己免疫疾患	導入	自社	
海外	フェーズⅢ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	凝固異常を伴う重症敗血症	自社	自社	米国・欧州他
	フェーズⅠ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	米国 (日米共同フェーズⅠ完了)
	フェーズⅠ	VEL-101	臓器移植	導入	自社	米国他
導出品	フェーズⅡ	LY3857210	慢性疼痛	共同開発	他社	導出先開発中 (日中販売権は当社が保持)

4. 参考資料

前年同期比では、円安影響もあり海外売上高が上昇。なお、近年は米国における「ヘルスケア」や「住宅」のM&A等により、米州の売上高比率が増加

■ 売上高・地域構成の推移^{*1}



■ 海外売上高

	2023年度上期 <組換後>		2024年度上期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	海外売上高	海外売上高 比率	海外売上高	海外売上高 比率		
マテリアルセグメント	3,727	61.1%	4,339	63.3%	612	16.4%
環境ソリューション	1,376	58.6%	1,594	57.1%	218	15.8%
モビリティ&インダストリアル	1,509	80.4%	1,701	83.3%	192	12.7%
ライフイノベーション	839	44.7%	1,042	51.5%	203	24.2%
マテリアル共通	3	98.4%	2	100.0%	-1	-39.7%
住宅セグメント	1,294	28.0%	1,464	29.0%	170	13.1%
住宅	1,294	29.4%	1,464	30.2%	170	13.1%
建材	-	-	-	-	-	-
ヘルスケアセグメント	2,127	79.8%	2,358	80.5%	231	10.9%
医薬・医療	494	49.0%	588	51.8%	94	19.0%
クリティカルケア	1,633	98.5%	1,770	98.7%	137	8.4%
その他	6	9.7%	7	11.0%	1	16.7%
合計	7,154	53.2%	8,168	54.8%	1,014	14.2%

*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している

設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	設備投資額			減価償却費 ^{*1}			研究開発費		
	2023年度 ＜組替後＞	2024年度 上期	2024年度 予想	2023年度 ＜組替後＞	2024年度 上期	2024年度 予想	2023年度 ＜組替後＞	2024年度 上期	2024年度 予想
マテリアルセグメント	1,115	469	1,760	720	318		438	220	
環境ソリューション	562	224		321	138		126	67	
モビリティ&インダストリアル	245	131		186	89		124	67	
ライフイノベーション	306	112		212	90		181	83	
マテリアル共通	2	1		2	1		8	3	
住宅セグメント	258	189	310	201	98		36	19	
住宅	235	172		178	87		30	16	
建材	23	17		23	11		6	3	
ヘルスケアセグメント	322	214	510	472	244		478	256	
医薬・医療	209	117		243	127		204	113	
クリティカルケア	113	97		229	117		274	143	
その他	11	12	20	9	6		1	1	
消去又は全社	132	63	150	124	62		113	53	
合 計	1,837	947	2,750	1,526	729	1,530	1,066	548	1,190

(参考) のれん償却額

296	157
-----	-----

*1 有形固定資産、無形固定資産（除く、のれん）の償却額を合算した金額で開示している

主な設備投資案件（現中計期間）

セグメント	サブセグメント	設備投資件名	能力	立地	完工時期					
					FY22上	FY22下	FY23上	FY23下	FY24上	FY24下
マテリアル	環境ソリューション	水力発電所改修（水ヶ崎発電所）	—	宮崎県西臼杵郡	24年度下期完工予定					
		リチウムイオン電池用セパレータ「ハイポア」の生産能力増強	約3.5億㎡／年	宮崎県日向市	24年度下期完工予定					
		リチウムイオン電池用セパレータ「セルガード」の生産能力増強	約1.5億㎡／年	米国ノースカロライナ州	25年度以降完工予定*1					
		リチウムイオン電池用セパレータ「ハイポア」の塗工能力増強	約6億㎡／年	米国ノースカロライナ州、宮崎県日向市	26年度上期完工予定					
		リチウムイオン電池用セパレータ「ハイポア」の製膜・塗工一貫ライン建設	約7億㎡／年*2	カナダオンタリオ州	27年完工予定					
	モビリティ&インダストリアル	人工皮革「Dinamica」の生産設備増設	約400万㎡／年	宮崎県延岡市	22年度上期完工					
	ライフイノベーション	結晶セルロース「セオラス」の工場建設	—	岡山県倉敷市	22年下期完工					
		感光性絶縁材料「パイメル」の生産能力増強	—	静岡県富士市	24年下期完工予定					
ヘルスケア	医薬・医療	ウイルス除去フィルター「プラノバBioEX」の紡糸能力増強	—	大分県大分市	22年下期完工					
		ウイルス除去フィルター「プラノバ」の新組立工場建設	—	宮崎県延岡市	24年5月完工					
		バイオ医薬品CDMOのBionovaの能力増強	—	米国カリフォルニア州	25年度上期完工予定					
		バイオ医薬品CDMOのBionovaのプラスミド製造における新規施設建設	—	米国テキサス州	25年度着工予定					

*1 需要動向に合わせ能力増強時期を調整中 *2 塗工膜換算

主なM&A案件（現中計期間）

セグメント	サブセグメント	企業名	事業内容	買収金額	のれん 発生額	業績貢献（PL連結開始）						
						FY22 上期	FY22 下期	FY23 上期	FY23 下期	FY24 上期	FY24 下期	
住宅	住宅	Focus など5社	北米における住宅の建築工事	362億円	128億円							22年11月
		ODC Construction, LLC	北米における住宅の建築工事	348億円	334億円 (暫定)							
ヘルスケア	医薬・医療	Bionova Holdings, Inc.	バイオ医薬品製薬企業への製造プロセス開発受託等	429億円	355億円							22年7月
		Calliditas Therapeutics AB	医薬・医療関連製品の開発、製造販売等	1,739億円 (5月発表時)	1,695億円 (暫定)							

主な構造転換の進捗状況（現中計期間）

セグメント	サブセグメント	案件	FY22 上期	FY22 下期	FY23 上期	FY23 下期	FY24 上期	FY24 下期
マテリアル	ライフ イノベーション	フォトマスク用ペリクル事業の事業譲渡	23年7月譲渡					
		スパンボンド不織布事業における 三井化学（株）との共同事業会社設立	23年10月設立・非連結化					
		旭化成パックス（容器事業、フィルム事業） の事業譲渡	23年10月容器事業譲渡		24年4月フィルム事業譲渡			
住宅	建材	岩国工場（ALCパネル生産拠点）の閉鎖	25年3月末閉鎖予定					
ヘルスケア	医薬・医療	セパセル（白血球除去フィルター）事業の 事業撤収	23年11月中国子会社譲渡		数年内に事業撤収予定			
		血液浄化事業の事業譲渡	25年4月譲渡予定					
		診断薬事業等の譲渡	25年7月譲渡予定					

四半期売上高推移

(億円)

	2021年度 ^{*1}				2022年度				2023年度<組替後>				2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	下期予想
マテリアルセグメント	2,796	2,963	3,152	3,189	3,394	3,394	3,270	3,108	2,968	3,134	3,289	3,226	3,505	3,352	6,953
環境ソリューション事業	1,191	1,290	1,373	1,372	1,499	1,414	1,368	1,318	1,162	1,218	1,348	1,292	1,469	1,323	2,838
うち 基盤マテリアル事業	724	823	902	900	1,001	873	887	859	662	721	808	744	880	784	1,725
モビリティ&インダストリアル事業	754	765	807	896	925	997	940	923	901	943	941	962	1,042	1,000	1,998
ライフインベーション事業	850	905	971	919	969	983	960	865	903	973	1,000	972	994	1,029	2,117
うち デジタルソリューション事業	286	306	313	309	342	323	299	261	294	317	331	343	357	368	725
マテリアル共通	0	3	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	-0	0	-0
住宅セグメント	1,951	1,979	2,183	2,112	2,066	2,138	2,301	2,484	2,211	2,416	2,400	2,517	2,365	2,687	5,368
住宅	1,872	1,886	2,085	2,022	1,975	2,035	2,195	2,388	2,105	2,302	2,295	2,427	2,264	2,579	5,158
建材	79	93	98	90	92	103	107	96	106	114	105	90	101	108	211
ヘルスケアセグメント	1,058	1,001	1,070	1,030	1,214	1,241	1,286	1,228	1,294	1,371	1,455	1,417	1,458	1,470	3,383
医薬・医療	428	426	468	421	505	485	545	468	511	498	564	512	563	572	1,315
クリティカルケア	630	575	603	609	710	756	741	760	783	873	892	906	894	898	2,068
その他	30	33	32	35	30	35	34	41	34	31	38	46	32	36	103
合 計	5,834	5,976	6,437	6,366	6,704	6,808	6,892	6,861	6,507	6,952	7,182	7,207	7,359	7,544	15,807

*1 2021年度の実績について、2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している

四半期営業利益推移

(億円)

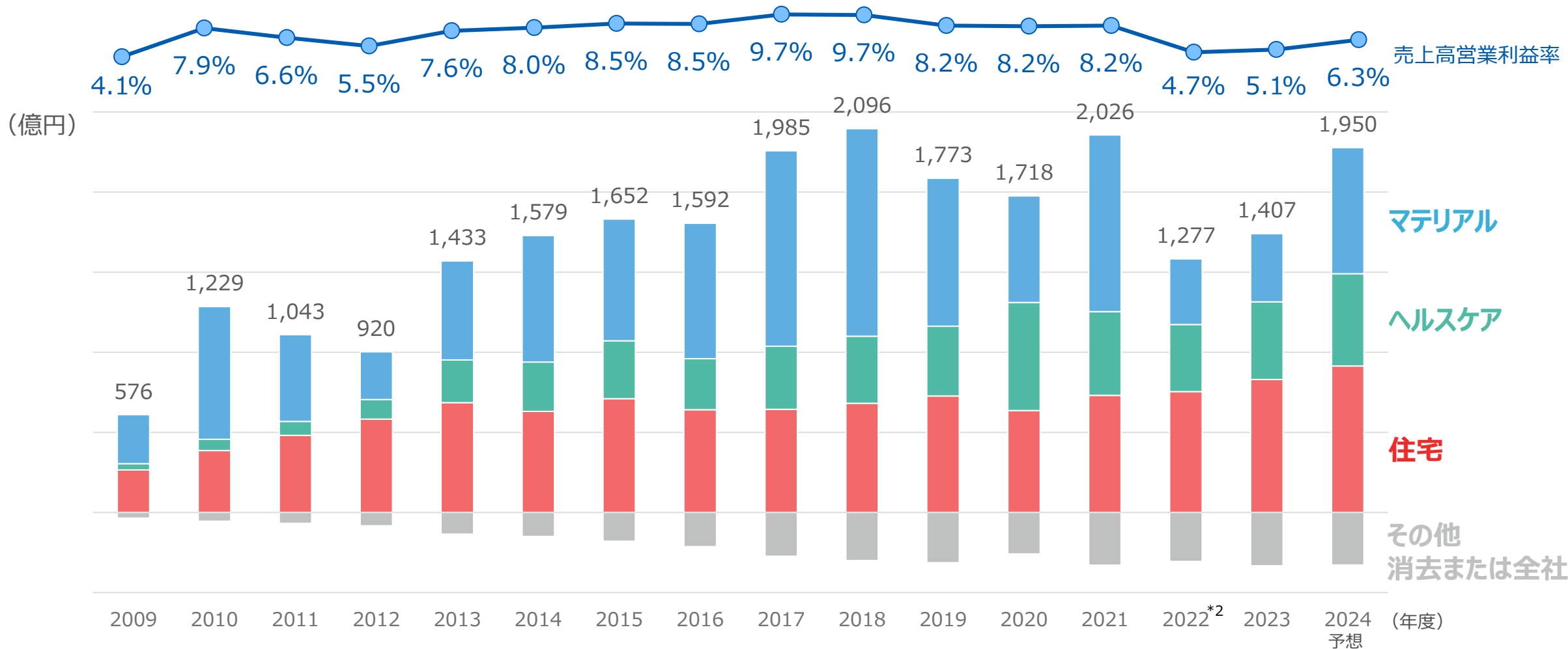
	2021年度 ^{*1}				2022年度				2023年度<組替後>				2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q ^{*2}	4Q ^{*2}	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	下期予想
マテリアルセグメント	311	275	298	176	268	139	81	-77	76	101	130	118	266	236	285
環境ソリューション事業	143	145	138	62	102	24	-26	-122	-7	-9	22	17	99	66	4
うち 基盤マテリアル事業	82	108	100	64	83	12	-42	-85	-51	-29	-3	0	61	48	6
モビリティ&インダストリアル事業	82	50	54	71	52	39	5	12	30	37	14	45	56	61	104
ライフイノベーション事業	102	89	108	49	121	75	77	6	45	72	98	69	124	122	178
うち デジタルソリューション事業	43	46	46	34	67	38	32	5	20	33	40	33	62	66	85
マテリアル共通	-16	-11	-2	-6	-6	1	25	27	8	2	-4	-12	-12	-13	-0
住宅セグメント	151	181	223	173	153	183	185	233	134	219	219	257	170	266	479
住宅	147	173	213	173	150	179	179	231	125	202	212	256	165	255	451
建材	4	8	10	0	3	4	6	1	9	17	7	1	5	12	28
ヘルスケアセグメント	205	138	159	20	148	110	114	46	96	103	158	129	156	176	243
医薬・医療	76	59	90	-7	100	45	79	5	51	24	80	34	74	69	30
クリティカルケア	129	78	69	27	48	65	35	41	45	79	78	95	82	107	213
その他	5	12	9	15	6	12	8	17	6	10	6	9	2	6	14
消去又は全社	-67	-79	-80	-98	-81	-79	-86	-102	-94	-92	-87	-91	-95	-94	-160
合 計	605	526	609	286	494	364	303	117	218	341	426	422	499	590	861

*1 2021年度の実績について、2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

営業利益の推移*1

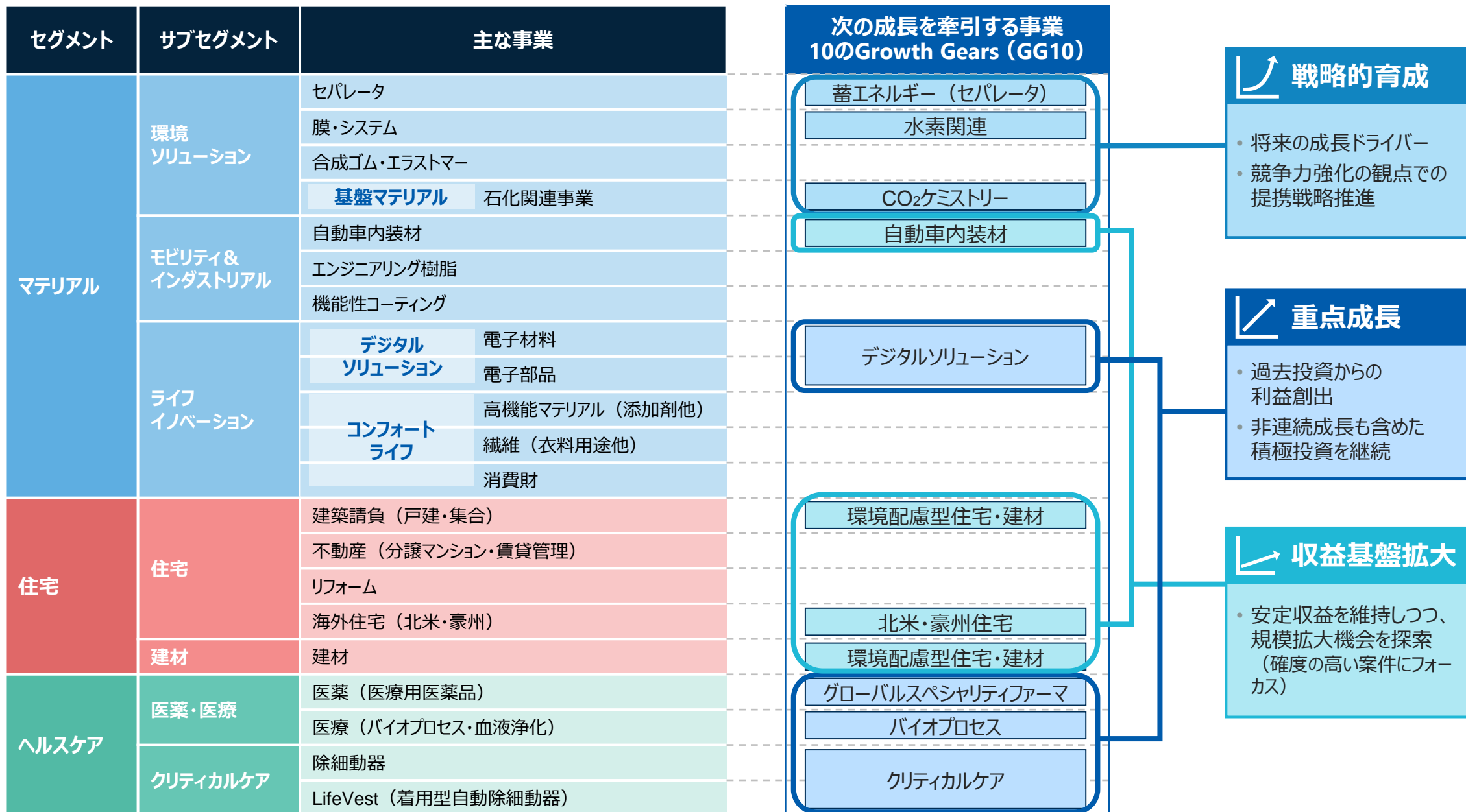
「住宅」の安定的な利益成長や、「ヘルスケア」の利益の拡大により、利益構造はレジリエント化が進んでいる。「マテリアル」は経営環境の悪化を受けて2018年度の営業利益をピークに減少していたが、2022年度を底に改善、グループ全体も増益傾向



*1 過年度の実績については、参考情報として現在の開示区分に簡便的に組み替えて表示している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

(参考) 事業区分とGG10の関係図



- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない
- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）

<お知らせ>

**2024年度第3四半期決算
決算発表予定日**

2025年2月5日（水）

「旭化成レポート2024」発行

https://www.asahi-kasei.com/jp/ir/library/asahikasei_report/





AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

